遠赤マジックドライヤー

SDR30・35・40・45ME
SDR50・60・70LE

取扱説明書

⚠警　告

- **この取扱説明書を読み、理解するまでは、操作および保守 点検を行わないでください。**
- **この取扱説明書を、機械の操作および保守・点検を行う場合に、いつでも調べられるように機械の近くに大切に保管してください。**

株式会社　サタケ

重要なお知らせ

⚠警　告

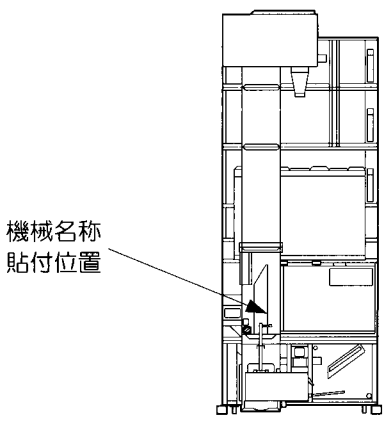
●この機械の操作および保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。

●この取扱説明書に従わなかったために、あるいは誤用や無断改造がなされたために、ケガを負ったり損害が発生したとしても、株式会社サタケおよびJAまたは販売店は一切その責任を負いません。

1. 近年、産業機械には、新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。
   この機械の取扱上の危険についても、全ての状況を予測することはできません。そのため、この取扱説明書の記載事項や機械に表示してある注意事項は、全ての危険を想定しているわけではありません。従って、機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載および機械本体に表示されている事項に限らず、安全対策に関しては十分配慮していただくようお願いいたします。

2. この取扱説明書について、質問やより詳しい情報が必要な場合は、お買い上げのJA・販売店または、**巻末「緊急時の連絡先」**にお問い合わせください。

3. この取扱説明書において、万一、ページの「乱丁」や「落丁」等があった場合は、お取替えいたします。お手数ですが、お買い上げのJAまたは販売店までご連絡ください。なおその際は、機械名称も合わせてご連絡ください。



もくじ

ページ

重要なお知らせ …… i

ご使用のまえに

安全のために必ずお守りください …… 1
表示ラベルの貼付位置 …… 5
各部のなまえ …… 7
表示部・操作部のなまえとはたらき …… 9
運転前の準備と確認 …… 11

運転のしかた

張込運転 …… 14
送風運転 …… 17
乾燥運転 …… 19
排出する前の水分確認 …… 23
胴割れの確認 …… 25
排出運転 …… 26
タイマ運転 …… 27
緊急停止 …… 28

お手入れと保管

残留穀物の取出しと掃除 …… 29
各部の掃除 …… 30
ネズミの侵入防止 …… 32
その他の点検と作業 …… 32
ハシゴの保管 …… 32

困ったとき

困ったときの対処のしかた …… 33
機械の仕様 …… 38
機体寸法 …… 39
保証とアフターサービス …… 40

安全のために必ずお守りください

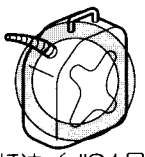
ご使用のまえに、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。表示と意味は次のとおりです。

⚠危　険	この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が死亡・重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警　告	この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が死亡・重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注　意	この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠危　険

ガソリン厳禁



灯油（JIS1号）

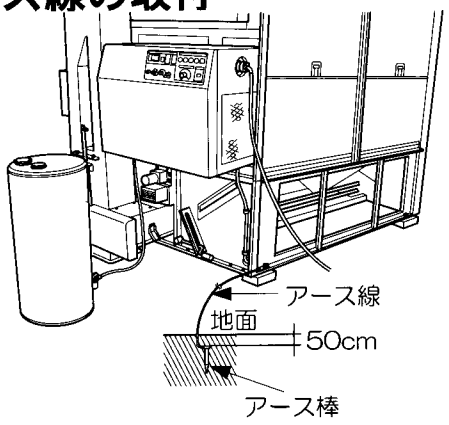


軽油･ガソリン

ガソリン･軽油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

⚠警　告

アース線の取付



必ず付属のアース線を取り付け、アース棒で地中に埋設（50cm以上）してください。アース取付けにより漏電による感電およびノイズ・静電気による誤動作を防止します。

換気必要

窓や戸を開けて換気をよくしてください。換気しないと不完全燃焼の原因になります。

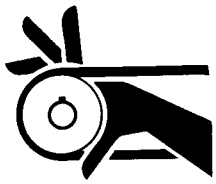
周囲を確かめてから運転開始

運転は、周囲の安全を確かめてから開始してください。2人以上で作業するときは、互いに合図をかわし作業してください。

安全のために必ずお守りください

⚠警　告

カバー類を取り付けて運転



カバー類はすべて取り付けて運転してください。カバーを取り付けないと、駆動部で怪我をする原因になります。

ホッパの奥へ手をいれない



運転中はホッパの奥へ手を入れないでください。スクリュで怪我をする原因になります。

天井の上に上がらない（お客さまはハシゴを使用しないでください）

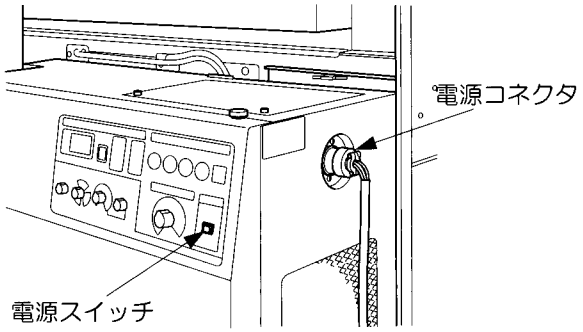


天井の上に上がらないでください。転落し重傷を負う原因になります。

タンク内に入らない（お客さまはハシゴを使用しないでください）

タンク内に入って作業しないでください。転落し重傷を負う原因になります。

掃除・点検時は電源コネクタを抜く



各部の掃除・点検をする場合は、電源スイッチを切り、電源コネクタを抜いて行ってください。電源コネクタを抜かないと、点検中、感電する原因になります。

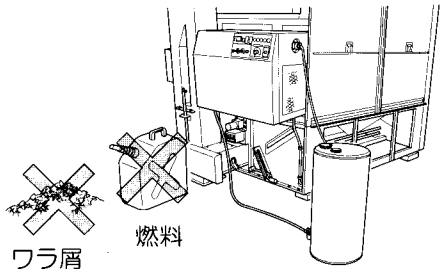
消火器の設置

乾燥機のそばには常時、消火器を設置しておいてください。（消火器は付属していません。お客さまにて準備願います。）

安全のために必ずお守りください

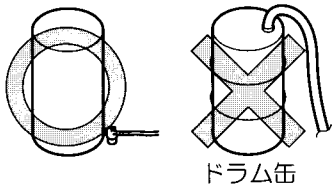
⚠警　告

周囲に可燃物を置かない



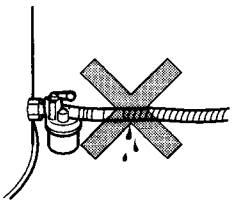
バーナ前面2m以内にワラ屑、燃料などの可燃物を置かないでください。燃料タンクは機械の側面から1m以上離して置いてください。火災の原因になります。

標準装備の燃料タンクを使用



燃料タンクは標準装備のものを使用し、機械と同一の床に置いてください。ドラム缶から直接配管しないでください。異常燃焼の原因になります。

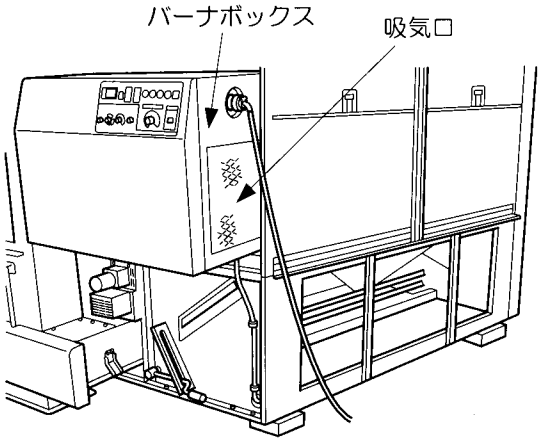
機械を停止して給油　灯油漏れのないよう配管

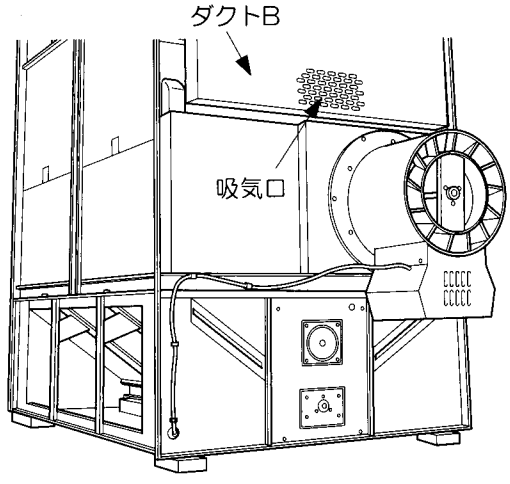


給油は機械を停止して行ってください。また、パイプから灯油が漏れないように配管してください。

運転前の掃除

乾燥運転前に、バーナボックス内および熱風胴、ダクトBの掃除をしてください。掃除をしない場合、火災の原因になります。(掃除方法については11ページを参照してください。) また、バーナボックスおよびダクトBの吸気口に遮へい物になるような物を置かないでください。万一ふさがれた場合、異常燃焼の原因となります。

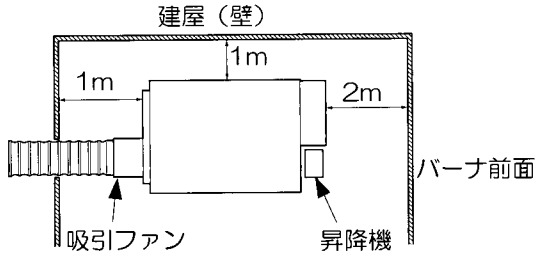




安全のために必ずお守りください

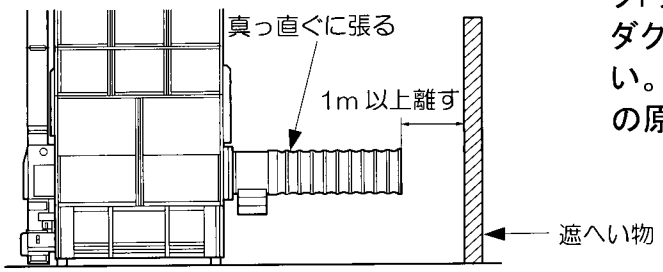
⚠注　意

機械周辺の作業通路を確保



機械周辺の作業通路を確保してください。作業通路はバーナ前面で2m以上、側面・後面で1m以上必要です。狭いと部品交換や掃除ができなくなります。

排風ダクトを真っ直ぐに張る



排風ダクトは真っ直ぐに張り、遮へい物からダクト先端を1m以上離してください。また、排風ダクトを絞ったり急激に曲げたりしないでください。乾燥が遅くなったり、バーナの不完全燃焼の原因になります。

刈取後４時間以内に送風

刈取後4時間以内に乾燥機に張り込み送風または乾燥運転してください。コンバインの袋に長時間放置すると穀物が熱により変質しヤケ米になります。

ワラ屑を取り除いて張り込む

ワラ屑を取り除いて張り込んでください。原料穀物内にワラ屑が入っている場合は、乾燥機内で詰まり循環ムラとなることがあります。

不純灯油　変質灯油使用禁止

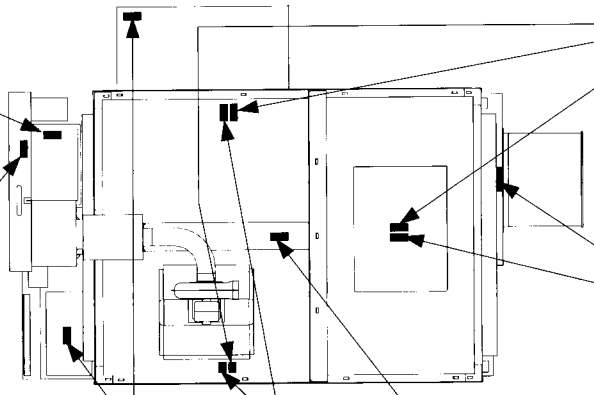
不純灯油（水・ゴミなどが混入したもの）、変質灯油（一夏もち越した灯油・日光に当たる場所や温度の高い場所に保管した灯油）は絶対に使用しないでください。バーナ異常燃焼の原因になります。

「乾燥速度」ツマミの設定注意

下記に示すような場合は安全のため「速い」に設定しないでください。
胴割れが増加する危険性があります。
(a)原料中に未熟粒が多い籾
(b)原料中に胴割れがある籾
(c)原料に脱ぷ・開えい(籾殻が開いている)がある籾
(d)胴割れしやすい品種の籾
(e)空気が乾燥している(湿度60%以下)の場合

表示ラベルの貼付位置

表示ラベルは、図示の位置に貼り付けてあります。このラベルには、「危険ラベル」・「警告ラベル」・「注意ラベル」の3種類があります。これらのラベルの内容は、1ページの「安全のために必ずお守りください」で説明しています。必ずその指示に従ってください。ラベルが汚れて見えなくなった場合は、布、水、洗剤できれいにしてください。ラベルが損傷した場合は、購入先から取り寄せ、所定位置に貼り付けてください。



警告
運転中はカバーをあけないこと。
点検終了後は必ずカバーを取付けること。
注文コード 190010023

警告
この上に乗らないこと。
注文コード 190010008

警告
運転中はカバーをあけないこと。
注文コード 130369004

警告
運転中はカバーをあけないこと。
注文コード 130369002

注意
カバーをふまないこと。
注文コード 130369007

警告
転落に注意すること。
注文コード 130369015

警告
運転中はカバーをあけないこと。
注文コード 130369017

注意
・吸気口をふさがないこと。
・堆積したゴミや埃は掃除をすること。
吸気口をふさいで運転すると、乾燥性能に影響を及ぼすだけでなく、火災や火傷の恐れがあります。
注文コード 190010032

警告
1.運転中はカバーをあけないこと。
2.点検終了後は必ずカバーを取付ける(閉める)こと。
注文コード 190010029

注意
モータカバーにごみが溜まる恐れがあります。運転前に点検及び掃除してください。
注文コード 190010021

警告
点検修理及び停電の時は、必ず電源プラグを抜くこと。急にモータが回転することがあります。

注意
使用後は必ず電源スイッチを切ってから電源コネクタを抜くこと。

警告
運転中はカバーをあけないこと。
点検終了後は必ずカバーを取付けること。
注文コード 190010023

警告
1.運転中は手を入れないこと。
2.点検終了後は必ずカバーを取付ける(閉める)こと。

注意
運転中は必ず閉めてください。
(開けると乾燥性能に影響します。)
注文コード 190010028

警告
点検・修理・調整する時は、必ず電源プラグを抜いて作業すること。
注文コード 190010014

警告
運転中はカバーをあけないこと。
注文コード 130369005

警告
運転中はカバーをあけないこと。
注文コード 130369017

危険
閉めきった部屋で乾燥運転を絶対にしないこと。

警告
1.運転中はカバーをあけないこと。
2.点検終了後は必ずカバーを取付ける(閉める)こと。
3.この機械を運転・点検整備するときは必ず取扱説明書をよく読むこと。

注意
1.火災の恐れがあるため、運転前にはカバー内を掃除すること。
2.停電または電源ボタンで停止させ再点火する場合は5分以上送風運転をしてから点火すること。
高温状態のバーナに点火すると異常燃焼による爆発音がすることがあります。
注文コード 190010031

警告
運転中は手を入れないこと。

警告
1.運転中はカバーをあけないこと。
2.点検終了後は必ずカバーを取付ける(閉める)こと。

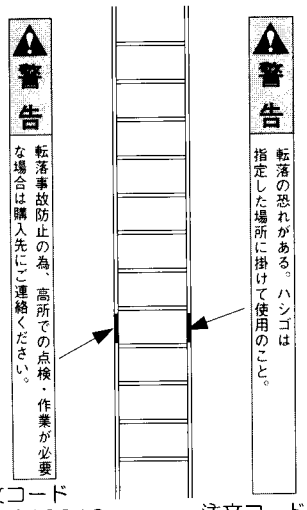
注意
吸引ファンには必ず排風ダクトを取付けて運転すること。
詳しくは、取扱説明書を参照のこと。
注文コード 190010030

注意
張りボルトのトッテは、モータに接触しないようにモータと平行に固定すること
(トッテがモータの巻き線に接触し、ショートする可能性があります。)
張りボルトのトッテ
機種によってはモータ取付方向が逆の場合があります
注文コード 190010018

図は SDR30ME(0.95kW ファン)です。

表示ラベルの貼付位置

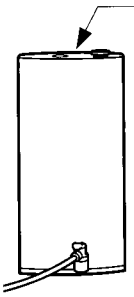
ハシゴ



注文コード
190010016

注文コード
190010005

燃料タンク



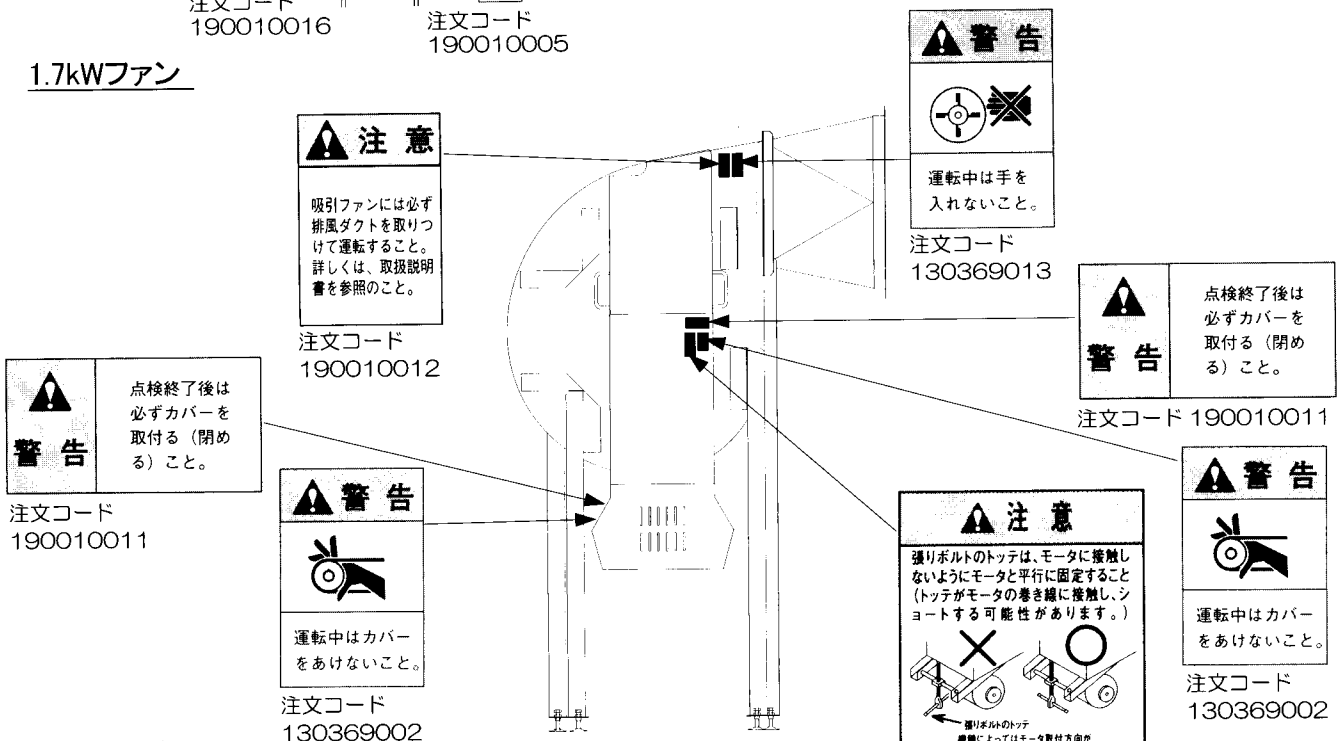
危険

必ずJIS1号灯油を使用すること。

燃料タンク使用上の注意
1. 長期保管や変質した灯油は使用しないでください。
2. 給油は機械を停止して行なってください。
3. フレキシブルチューブを接続するときは、チューブ内の空気抜きを必ず行なってください。
4. 燃料タンクの据付けは、傾けたり、高さを変えたり、バーナーの付近での使用は避けてください。
5. 燃料コックとフレキシブルチューブは、燃料もれのないように確実に締付けてください。
6. 運転中止の場合は、必ず燃料コックを締めてください。
7. シーズン終りには、ドレンを抜取り、タンク内を空にしてください。

注文コード 190010003

1.7kWファン



注文コード
190010012

注文コード
130369013

注文コード 190010011

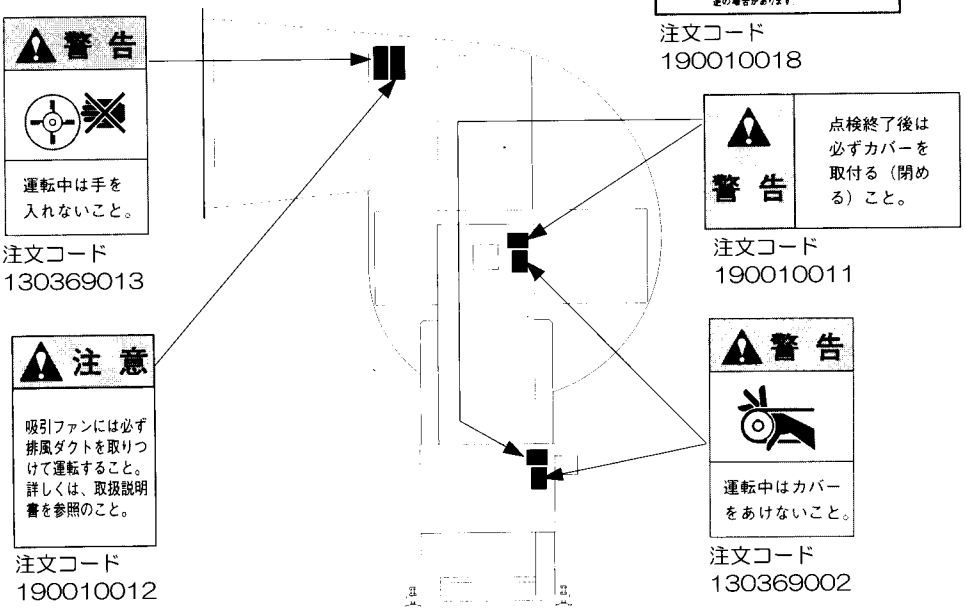
注文コード
190010011

注文コード
130369002

注文コード
190010018

注文コード
130369002

2.6kWファン



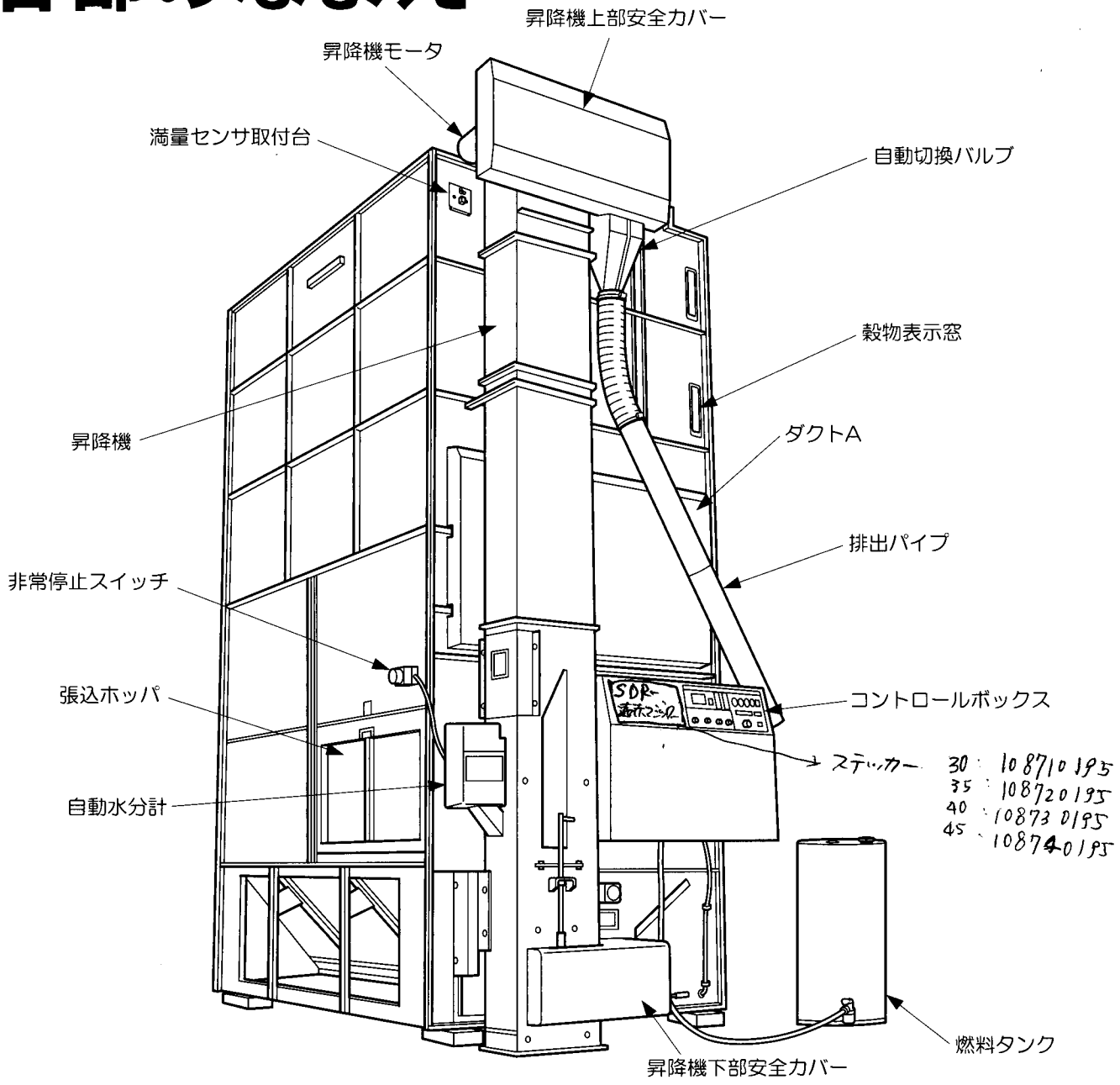
注文コード
130369013

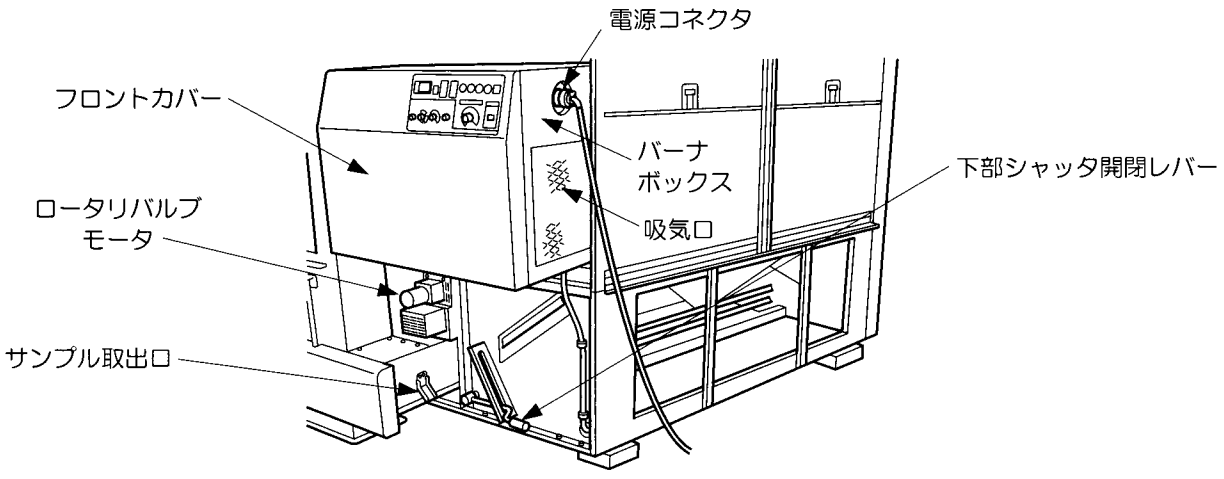
注文コード
190010012

注文コード
190010011

注文コード
130369002

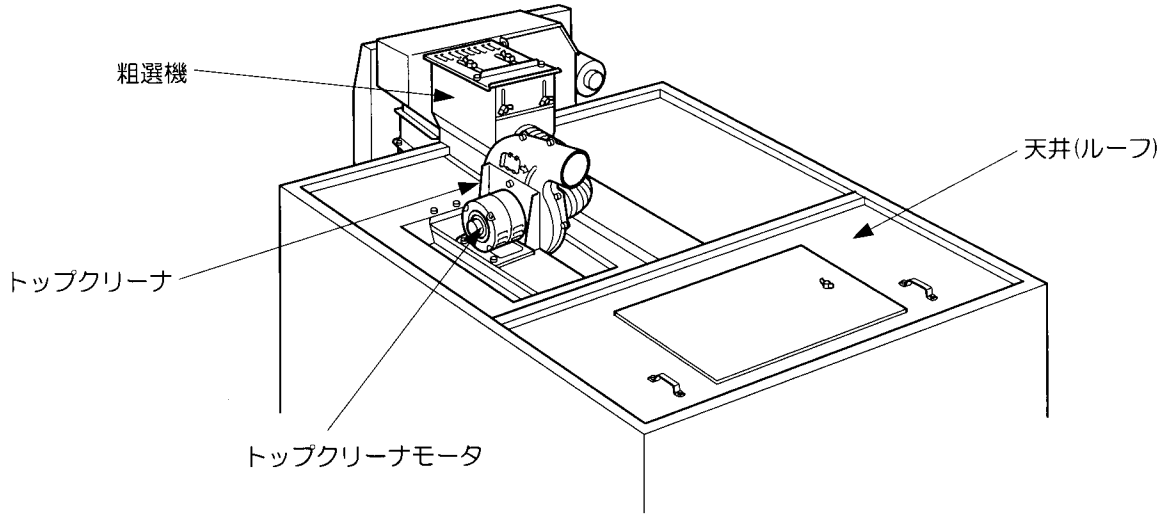
各部のなまえ

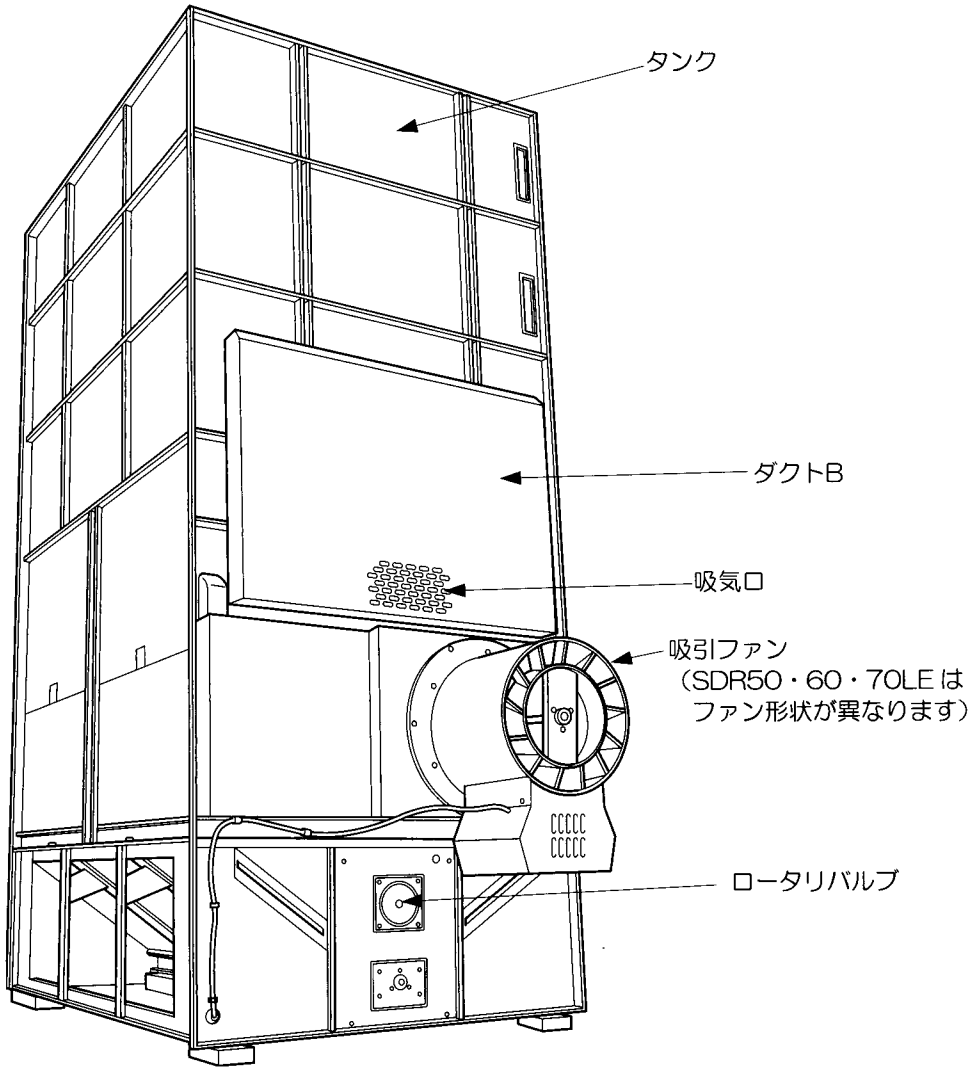




イラストはSDR30MEです。

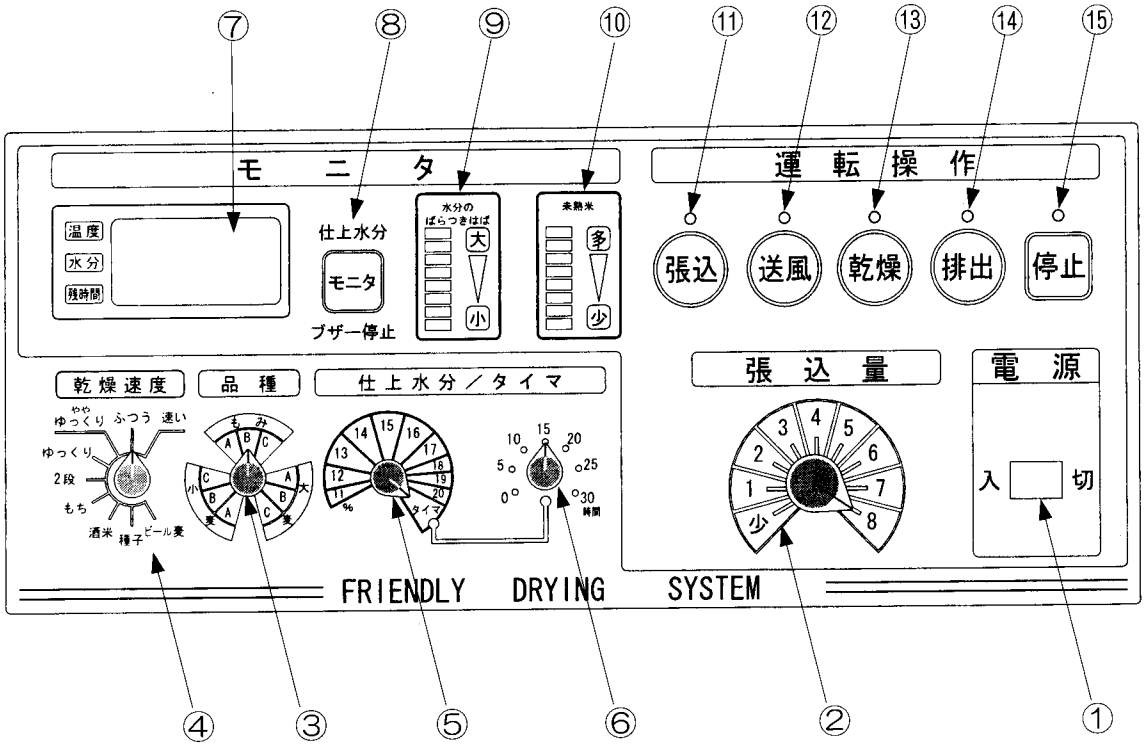
各部のなまえ





イラストは SDR30ME です。

表示部 操作部のなまえとはたらき



バーナ間断燃焼について

張込量が〔少量〕または〔1〕の場合は、バーナは連続燃焼しないで下図のように燃焼・休止を繰り返し乾燥しますので注意してください。
なお、休止時は吸引ファンとロータリーバルブが停止し、昇降機が動いたままとなります。

張込量〔少量〕の場合　バーナが40分燃焼する ⇒ バーナが30分休止する ⇒ バーナが40分燃焼する ⇒ バーナが30分休止する　乾燥終了までこれを繰り返します。

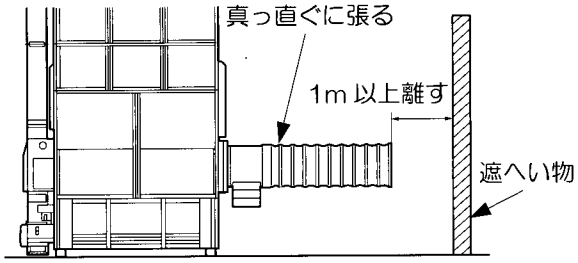
張込量〔1〕の場合　バーナが50分燃焼する ⇒ バーナが30分休止する ⇒ バーナが50分燃焼する ⇒ バーナが30分休止する　乾燥終了までこれを繰り返します。

表示部 操作部のなまえとはたらき

番号	名　　称	機　　能
①	「電源」スイッチ	電源の「入」、「切」をします。
②	「張込量」ツマミ	張込量を設定します。 〔少量〕あるいは〔1〕に設定した場合は、品種を籾にするとバーナが間断燃焼します。(9ページ参照)
③	「品種」ツマミ	品種を設定します。
④	「乾燥速度」ツマミ	乾燥速度を設定します。
⑤	「仕上水分」ツマミ	仕上水分を設定します。タイマ運転するときはタイマに設定します。
⑥	「タイマ」ツマミ	タイマ運転するとき、運転時間を設定します。
⑦	モニタ表示部	熱風温度、穀物水分、運転残時間を順次表示します。 アラームが発生した場合は、アラームNOを点滅表示します。
⑧	「モニタ」スイッチ	アラーム発生時に押すと、ブザー音が止まりアラームNOが点滅表示から点灯表示に切り換わります。 運転中に押すと、仕上水分設定値が点滅表示します。
⑨	「水分のバラツキ幅」 ランプ	自動水分計で測定した水分から穀物水分のバラツキを計算し表示します。
⑩	「未熟米」ランプ	自動水分計で測定した水分から未熟米混入量を計算し表示します。
⑪	「張込」スイッチ	張込運転を行うとき押します。
⑫	「送風」スイッチ	送風運転を行うとき押します。
⑬	「乾燥」スイッチ	乾燥運転を行うとき押します。
⑭	「排出」スイッチ	排出運転を行うとき押します。
⑮	「停止」スイッチ	各運転を停止するとき押します。

運転前の準備と確認

乾燥機周辺の確認



●バーナの周辺2m以内にワラ屑・燃料などの燃えやすいものがないことを確認します。

●排風ダクトを真っ直ぐ張り、先端が遮へい物から1m以上離れていることを確認します。

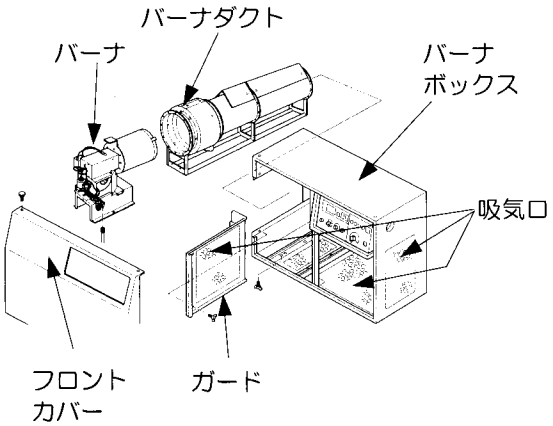
●作業場の窓を開け、換気をよくします。

バーナボックス内および熱風胴、ダクトBのゴミ・埃掃除

⚠注 意

●バーナおよびバーナダクトは重いので注意して作業してください。

●バーナダクトを組み付ける場合は、確実に奥まで押し込んでください。



●バーナボックス前面のフロントカバーを外します。

●バーナを外します。

●バーナやバーナボックスの吸気口に付着しているゴミ・埃を取り除きます。

●バーナボックスのガードを取り外します。

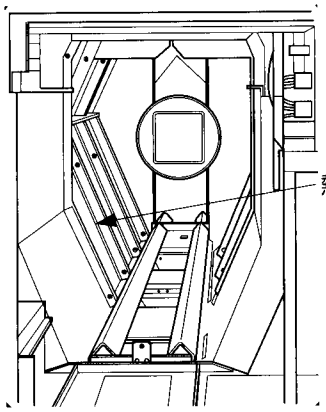
●バーナダクトを手前に引き出します。

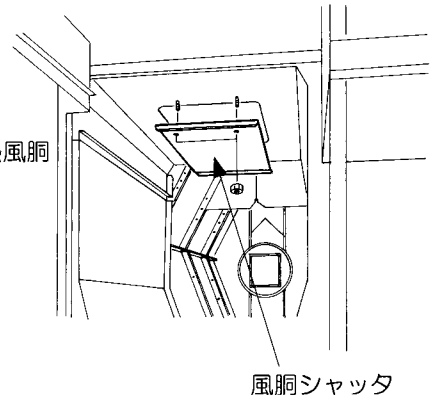
●バーナダクトおよび熱風胴に付着しているゴミ・埃を取り除きます。

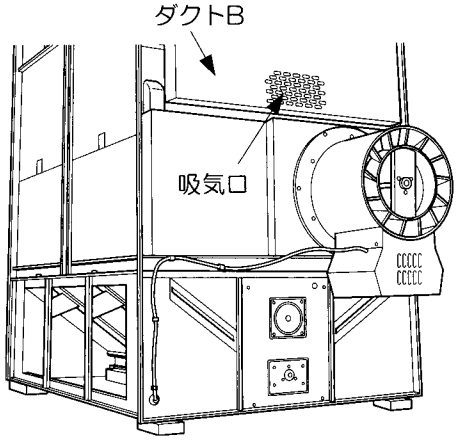
●風胴シャッタを取り外し、内部に堆積しているゴミ・埃を取り除きます。

●各部の掃除が終わったら、逆の手順で組み付けます。

●ダクトBの吸気口に付着しているゴミ・埃を取り除きます。







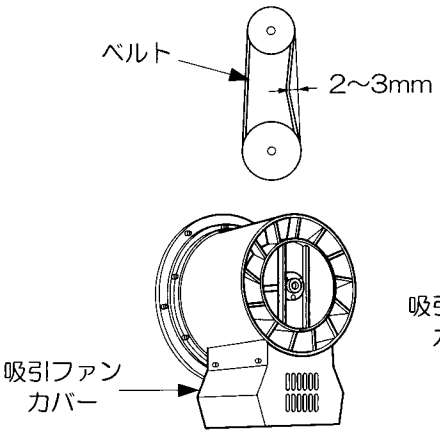
運転前の準備と確認

吸引ファンベルトの張り具合確認

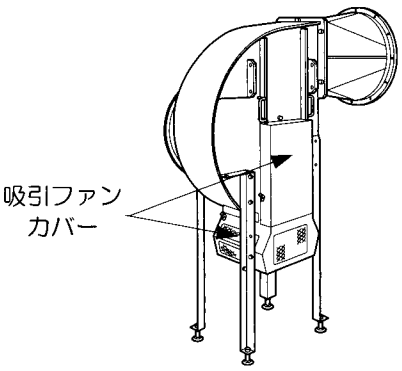
●吸引ファンカバーを取り外します。

●ベルトを指で軽く押し、たわみが左図の寸法になるようテンションボルトを張ります。

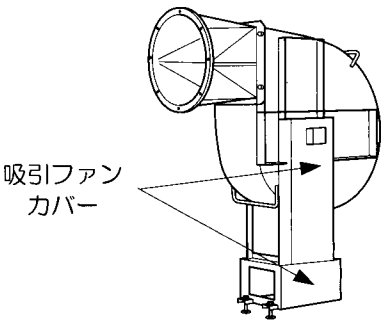
●吸引ファンカバーを取り付けます。



0.95kWファン

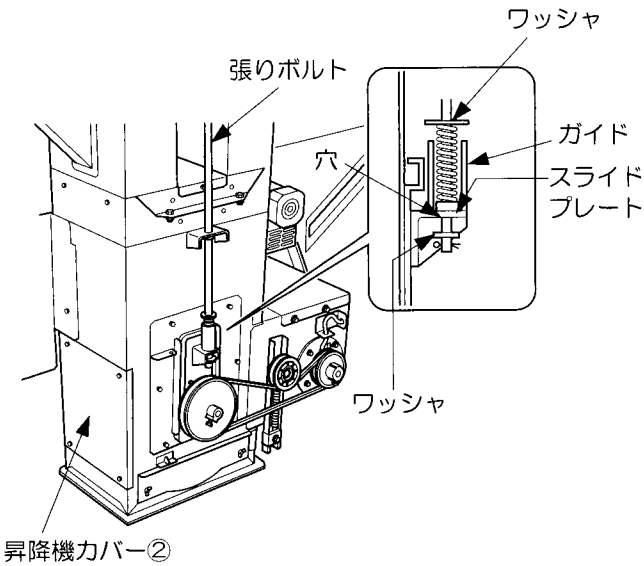


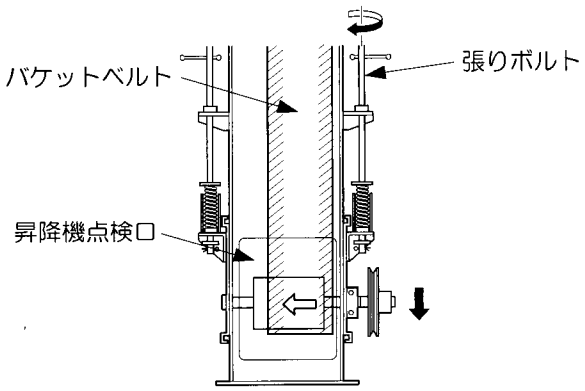
1.7kWファン



2.6kWファン

バケットベルトの張り具合確認





●昇降機下部の左右の張りボルトをワッシャがガイドに当るまで右に回します。

●電源スイッチを入れ、張込スイッチを押し約10秒間運転します。

●停止スイッチを押し電源を切ります。

●昇降機カバー②を外し昇降機点検口からバケットベルトの片寄りを確認します。

●片寄っている場合は、片寄っている側の張りボルトを右に1~2回転回し乾燥機を10秒間運転します。

●バケットベルトの片寄りがなくなっていることを確認します。

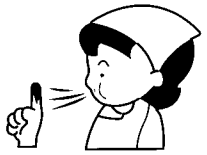
●昇降機カバー②を取り付けます。

運転前の準備と確認

灯油を燃料タンクに入れる

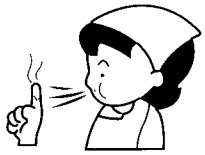
灯油とガソリンの見分けかた
指先につけて息を吹きかけます。
（火の気のない所でしてください）

灯　油



ぬれたままです

ガソリン

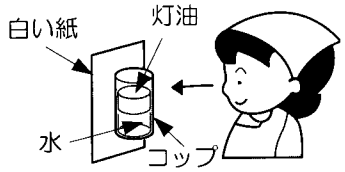


すぐ乾いてしまいます

危　険

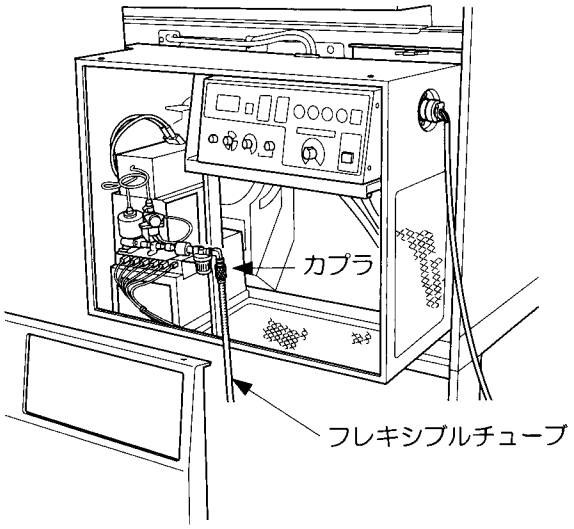
- ガソリン、変質灯油、不純灯油は絶対使用しないでください。
- 必ず、JIS1号灯油を使用してください。

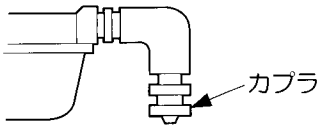
変質のひどいものは、
黄色味を帯びたり、
すっぱい臭いがします。



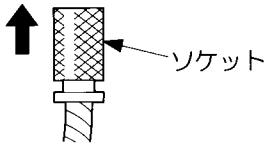
フレキシブルチューブのエア抜きをする

エア抜きをしていない場合は、004を表示し点火しないことがあります。

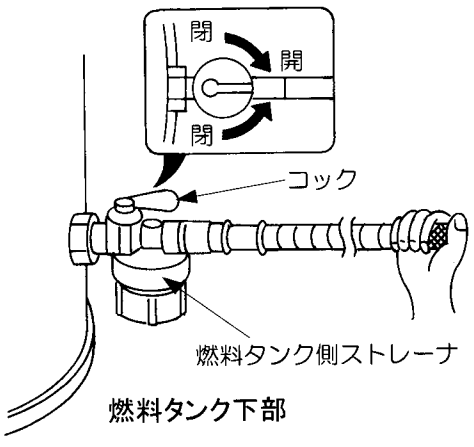




ソケット部分を下側へ押し下げた状態でカプラへ挿し込みます。



- フレキシブルチューブをカプラから外します。
- フレキシブルチューブの先端を片手で持ち燃料タンク側のコックを開きます。
- 灯油が先端からあふれる前にすばやく指でふさぎます。
- 燃料タンク側のコックを閉めます。
- フレキシブルチューブの先端から灯油がこぼれないように注意して、カプラにフレキシブルチューブを接続します。
- フレキシブルチューブの接続部から灯油が漏れていないことを確認します。



燃料タンク下部

張込運転

張込量の目安

張込量の目安を下記に示します。袋数はコンバイン袋（約35kg）で計算しています。穀物の性状、品種により張込量は変わりますから、初回の刈取りは少なめに刈取ってください。

張込量

張込量設定	袋数	重量（kg）		
		籾	小麦	大麦
少量	20～28	700	850	750
1	29～37	1,200	1,450	1,300
2	38～55	1,800	2,150	1,950
3	56～75	2,400	2,900	2,650
4	76～95	3,000	3,600	3,300
5	96～125	4,000	4,850	4,400
6	126～155	5,000	6,050	5,500
7	156～185	6,000	7,250	6,600
8	186～215	7,000	8,500	7,750

⚠注　意

●張込前に、前回乾燥した穀物がすべて排出されていることを確認してください。

●穀物品種が変わる場合は、29ページを参照し機体の残留穀物を取り出してください。

●ワラ屑などの異物は、乾燥ムラの原因になるため、張込前に取り除いてください。

●午前中刈取った穀物と午後刈取った穀物を混ぜて乾燥する場合、午前中刈取った穀物の水分が多いため乾燥ムラになります。これを防止するため、午前中刈取った穀物は、乾燥機に張込後、17ページの方法で送風運転してください。

●天井から直投入で張込む場合、均分のかたよりをなくするため、送風運転で張込んでください。

張込運転

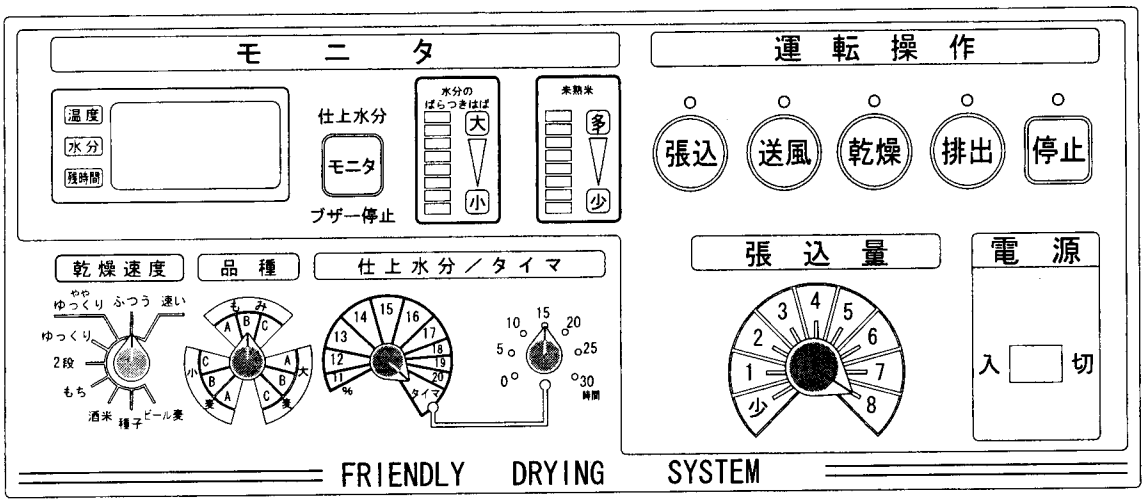
⚠注　意

●「張込停止」位置以上に張込まないでください。

「張込停止」位置以上に張込むと、穀物がタンク内にいっぱいになり、飛散盤および上部スクリュ、昇降機モータなどが破損する原因になります。

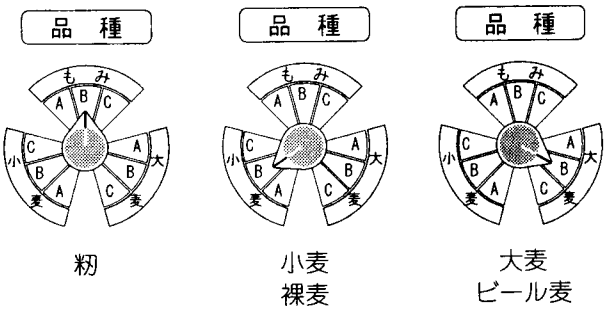
●低水分小麦（水分18%以下）は穀物表示窓の▽5を超えて張込まないでください。機械が故障および破損する原因になります。

●籾700kg、小麦850kgより少ない量での乾燥はできません。



1　「電源」スイッチを「入」にする。

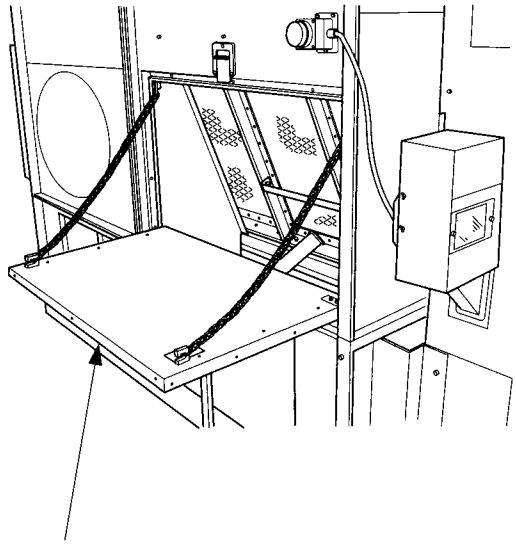
2　「品種」ツマミを下記のように設定する。



籾　　小麦・裸麦　　大麦・ビール麦

籾	：	「もみB」
小麦・裸麦	：	「小麦B」
大麦・ビール麦	：	「大麦B」

3　「張込」スイッチを押し乾燥機を運転する。



4　張込ホッパを開ける。

5　ホッパから穀物を張込む。

6　満量近くになると、満量センサが作動する。（モニタ表示部に「００１」が点滅する。）

7　「モニタ」スイッチを押しブザーを止める。

8　タンクの「張込停止」位置になるまで注意しながら張込む。

9　「停止」スイッチを押す。

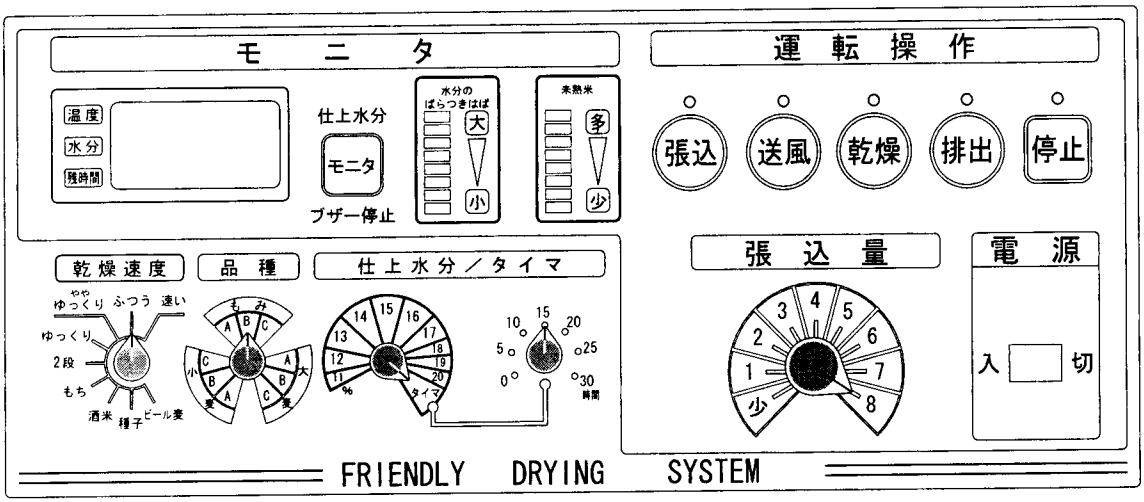
10　張込ホッパを閉じる。

送風運転

送風運転とは、バーナに点火しないで吸引ファンのみ回転させ、風だけで穀物を循環させる運転をいいます。

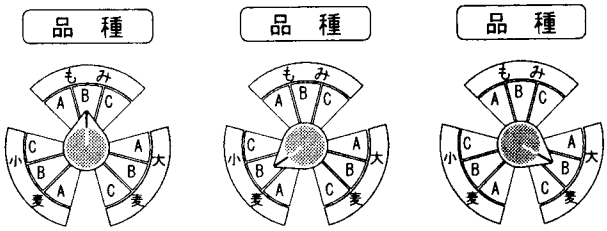
次のような場合送風運転を行います。

- ●午前中刈取った穀物と午後刈取った穀物を混ぜて乾燥する場合、午前中刈取った穀物の水分が多いため乾燥ムラになります。これを防止するため、午前中刈取った穀物は、乾燥機に張込後、送風運転します。
- ●バーナの故障で乾燥できない場合、穀物の変質を防止するため送風運転します。



1　「電源」スイッチを「入」にする。

2　「品種」ツマミを下記のように設定する。



籾　　小麦 裸麦　　大麦 ビール麦

籾	：	「もみB」
小麦・裸麦	：	「小麦B」
大麦・ビール麦	：	「大麦B」

3　「仕上水分」ツマミを希望の水分値に合わせる。

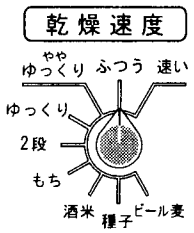
4　「送風」スイッチを押し送風運転を開始する。

5　運転途中で送風を停止する場合は、「停止」スイッチを押す。

乾燥運転

各種乾燥運転の説明

コントロールボックスの「乾燥速度」について説明します。穀物の性状に合った位置に設定し乾燥運転をしてください。



[速い乾燥]

●穀物を速く乾燥させたい場合、設定します。

●ただし、下記に示すような場合は安全のため「速い」に設定しないでください。

胴割れが増加する危険性があります。

(a)原料中に未熟粒が多い籾

(b)原料中に胴割れがある籾

(c)原料中に脱ぷ・開えい(籾殻が開いている)がある籾

(d)胴割れしやすい品種の籾

(e)空気が乾燥している(湿度60%以下)場合

[ふつう乾燥]

●穀物を普通の速さで乾燥させたい場合、設定します。

[ややゆっくり乾燥]

●下記に示すような穀物を安全に乾燥させたい場合、設定します。

(a)原料中に未熟粒が15%以上ある籾

(b)原料中に重胴割れが3%以上ある籾

(c)原料中に脱ぷ・開えい(籾殻が開いている)が10%以上ある籾

(d)胴割れしやすい品種の籾

(e)濡れた籾、麦

乾燥運転

[ゆっくり乾燥]

●胴割れなどの被害粒が発生している籾で、乾燥時間が長くかかっても食味を低下させたくない場合、設定します。

水分が高いときは低温で乾燥し、水分が下がるにしたがって徐々に温度を上げて乾燥します。

[２段乾燥]

●原料穀物の水分のばらつきが大きい場合、設定します。

乾燥中の穀物の水分が18%になると乾燥運転を5時間休止し、その後、再び乾燥運転を行い設定水分値で停止します。

2段乾燥にすると穀物水分のばらつきが少なくなります。

⚠警　告

休止中は「停止」スイッチランプが点滅し、全てのモータが停止します。

休止が終わると自動で乾燥運転が始まりますので注意してください。

[もち乾燥]

●もち米を乾燥する場合、設定します。

胴割れを生じさせないよう、低めの熱風温度でゆっくり乾燥します。

[酒米乾燥]

●酒米を乾燥する場合、設定します。

胴割れを生じさせないよう、低めの熱風温度でゆっくり乾燥します。

[種子乾燥]

●種子用の穀物を乾燥する場合、設定します。

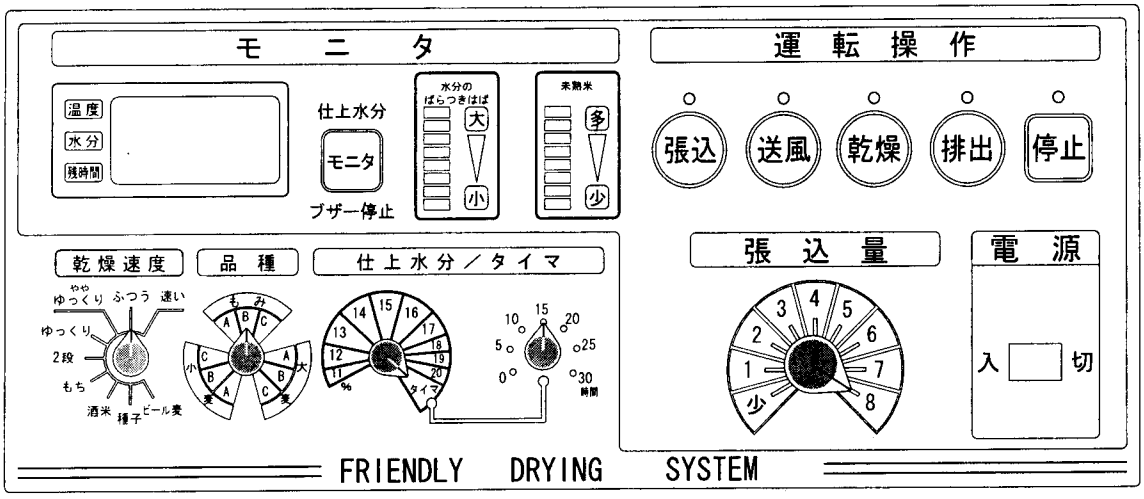
発芽率を低下させないよう、低めの熱風温度でゆっくり乾燥します。

[ビール麦乾燥]

●ビール麦を乾燥する場合、設定します。

発芽率を低下させないよう、低めの熱風温度でゆっくり乾燥します。

乾燥運転



1　「電源」スイッチを「入」にする。

2　「乾燥速度」ツマミを希望する乾燥に設定する。

（18・19ページを参照してください）

⚠注　意

●下記に示すような場合は安全のため、「乾燥速度」ツマミを「速い」に設定しないでください。胴割れが増加する危険性があります。

(a)原料中に未熟粒が多い籾

(b)原料中に胴割れがある籾

(c)原料中に脱ぷ・開えい(籾殻が開いている)がある籾

(d)胴割れしやすい品種の籾

(e)空気が乾燥している(湿度60%以下)場合

●下記に示すような穀物は安全のため、「乾燥速度」ツマミを「ややゆっくり」に設定してください。

(a)原料中に未熟粒が15%以上ある籾

(b)原料中に重胴割れが3%以上ある籾

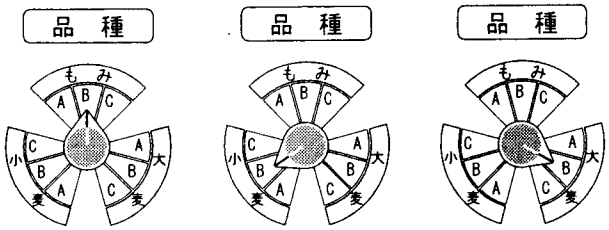
(c)原料中に脱ぷ粒・開えい(籾殻が開いている)が10%以上ある籾

(d)胴割れしやすい品種の籾

(e)濡れた籾、麦

乾燥運転

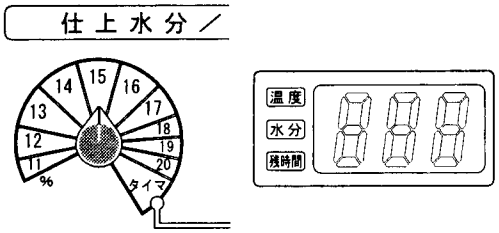
3　「品種」ツマミを下記のように設定する。



籾　　小麦 裸麦　　大麦 ビール麦

籾	：	「もみB」
小麦・裸麦	：	「小麦B」
大麦・ビール麦	：	「大麦B」

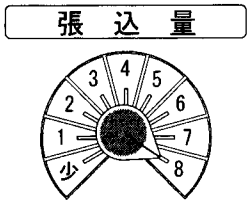
4　「仕上水分」ツマミを希望の水分値に合わせる。



⚠注　意

●過乾燥防止のため、毎年初回の乾燥または品種が変わった場合は、希望する仕上水分値よりも0.5～1.0%高い水分値に合わせてください。

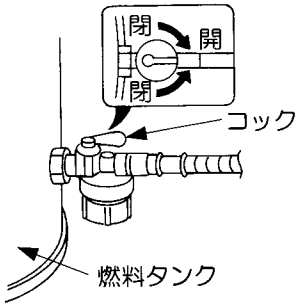
5　「張込量」ツマミを張り込んだ穀物表示窓の番号に合わせる。



⚠注　意

●籾700kg、小麦850kgより少ない量での乾燥はできません。

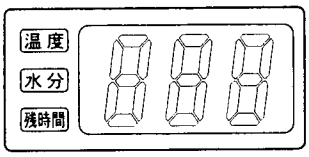
6　燃料タンクのコックを開ける。



乾燥運転

7　「乾燥」スイッチを押す。





●「乾燥」スイッチランプ（緑）が点灯し、40秒後にバーナが点火します。

●モニタ表示部に熱風温度・水分・運転残時間を5秒間隔で表示します。

●運転中「モニタ」スイッチを押すと、仕上水分設定値を表示します。

●モニタ表示部に「004」が点滅しバーナに点火しない場合は、機械が停止した後、再度「乾燥」スイッチを押してください。

●「張込量」ツマミが〔少量〕の場合はバーナが40分燃焼・30分休止、〔1〕の場合は50分燃焼・30分休止を繰り返し乾燥します。なお、バーナが消火しているときは吸引ファンとロータリバルブが停止し昇降機が動いたままとなります。

●乾燥途中で乾燥を止める場合は、「停止」スイッチを押してください。バーナが消火し、5分後に機械が自動停止します。

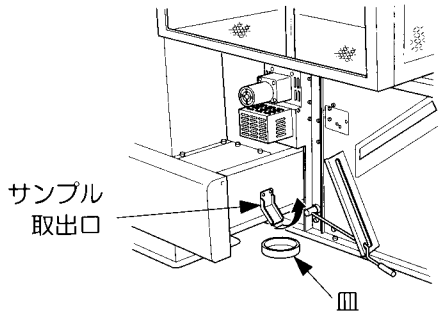
8　設定した水分値になると、乾燥運転が停止する。

9　燃料タンクのコックを閉める。

排出する前の水分確認

乾燥が終了して、穀物を排出する前に、次の手順で水分を確認してください。

1　サンプルを取出す。



●「送風」スイッチを押して送風運転します。

●機械前面下部のサンプル取出口へ皿を受けます。

●サンプル取出口を持ち上げ、サンプルを取ります。

2　手持ちの抵抗式水分計で水分を測定する。

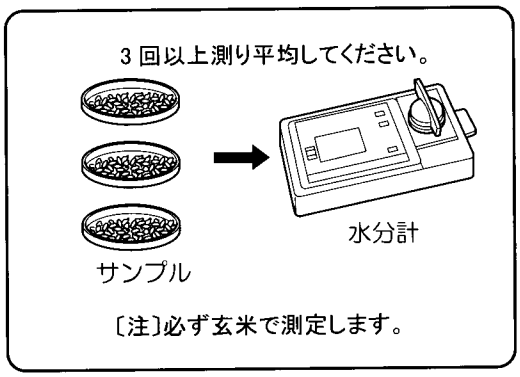
⚠ 注　意

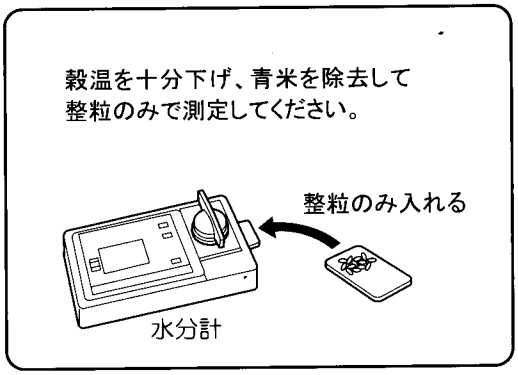
●抵抗式水分計は毎年検査を受けたものを使用してください。

●抵抗式水分計の電池は、毎年新しいものと交換してください。

●サンプルを外気温度まで冷まし、籾摺りし、整粒のみの玄米で測定してください。

●測定は3回以上行い平均してください。

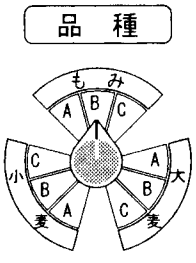




3　水分表示値を合わせる。

手持ちの抵抗式水分計で測定した水分値と、乾燥機のモニタ表示部の水分値に差がある場合は、次のようにして合わせることができます。

〔品種〕ツマミで合わせる方法



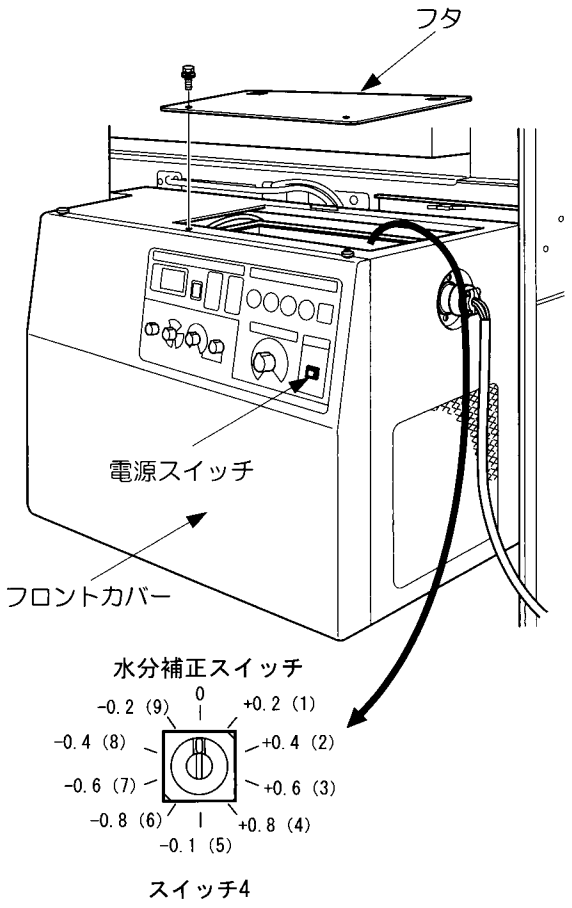
●モニタ表示が約1%大きい場合・・・・品種ツマミをBからAにします。

●モニタ表示が約1%小さい場合・・・・品種ツマミをBからCにします。

排出する前の水分確認

〔水分補正〕スイッチで合わせる方法

品種ツマミで合わせても±0.8%以内の差がある場合は、次のようにして合わせます。



スイッチ4

●「電源」スイッチを「切」にします。

●フロントカバーをはずします。

●コントロールボックスのフタを開けます。

●CPU基板上の「水分補正」スイッチを回して水分値を合わせます。

たとえば、モニタ表示が手持ち抵抗式水分計の表示より0.4%大きい場合は、−0.4%に合わせます。

●「電源」スイッチを「入」にして送風運転をします。

しばらくしてモニタ表示に水分が表示されたら、手持ちの抵抗式水分計の水分とほぼ合っていることを確認します。

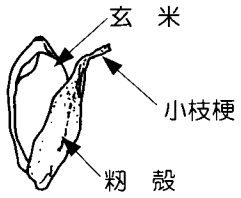
胴割れの確認

⚠注　意

●原料中に胴割れがある場合は、「乾燥速度」ツマミを「速い」に設定して乾燥しないでください。

●原料中に重胴割れが3%以上ある場合は、「乾燥速度」ツマミを「ややゆっくり」に設定して乾燥してください。

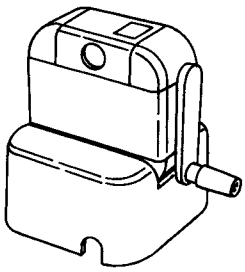
籾は、乾燥前と乾燥終了後に、次の手順で胴割れを確認してください。



籾の構成

1　サンプルを採取する。

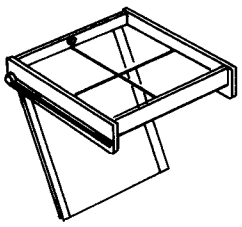
●張込時と排出時に4～6回に分けて一握りの籾を採取し、よくかき混ぜます。


籾摺器（例）

2　籾殻を取り玄米にする。

●原料籾は、玄米に傷がつかないように手で籾殻をむきます。

●乾燥籾は、手持ちの水分計に付属している籾摺器で玄米にします。


米粒透視器（例）

3　胴割れを測定する。

●玄米100粒を米粒透視器の上に並べ、下から光を透過させ、胴割れ粒数を数えます。このとき例えば、重胴割れ粒が3粒あれば重胴割れが3%あるということになります。

胴割れの判定

	玄米の状態	
軽胴割れ（被害粒に入らない）		内部にわずかにキレツがある。
		表面にわずかにキレツがある。
重胴割れ（被害粒に入る）		背部から腹部の側面までキレツが発生している。
		横幅に対して2/3以上のキレツが2本発生している。
		縦横に、複数本のキレツが発生している。

排出運転

⚠注　意

●排出する前に、23ページの方法で、必ず手持ちの抵抗式水分計で水分を測定し、希望の水分値になっていることを確認してください。

●乾燥終了後は、できるだけ早く排出してください。

穀物を排出する場合は、次の手順で行ってください。

1　「排出」スイッチを押す。

●「排出」スイッチランプ（緑）が点灯し、約10秒後に自動切換バルブが排出側に切換わります。

●モニタ表示部に、排出終了予想時間が表示します。

●途中で排出を止める場合は、「停止」スイッチを押します。

2　穀物がなくなると、機械が自動停止する。

タイマ運転

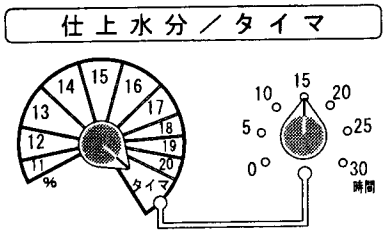
タイマ運転は、タイマにより運転時間を設定し自動停止する方法です。

自動水分計が故障した場合等で使用します。

次の手順でタイマ運転を行ってください。

1　「電源」スイッチを「入」にする。

2　「仕上水分」ツマミを「タイマ」に設定する。

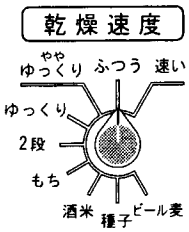


3　「タイマ」ツマミで運転時間を設定する。

●設定時間は1時間に0.8%乾燥することを目安に設定してください。

たとえば、25%の籾を15%まで乾燥するとすれば、25－15＝10%乾燥ですから10÷0.8＝12.5時間に設定します。

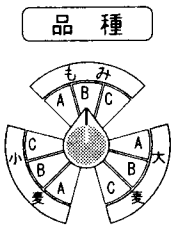
●設定値はモニタ表示部に表示します。



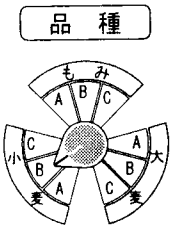
4　「乾燥速度」ツマミを希望する乾燥に設定する。

●設定のしかたは18・19ページを参照してください。

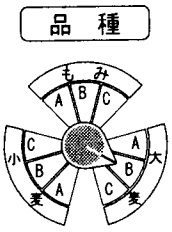
5　「品種」ツマミを下記のように設定する。



籾



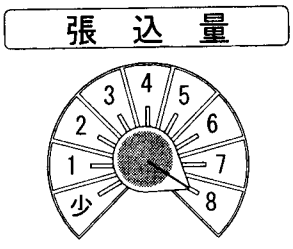
小麦
裸麦



大麦
ビール麦

籾	：	「もみB」
小麦・裸麦	：	「小麦B」
大麦・ビール麦	：	「大麦B」

6　穀物を張込み、「張込量」ツマミを張込んだ穀物表示窓の番号に合わせる。



7　「乾燥」スイッチを押し乾燥を開始する。

8　設定時間になると自動停止する。

緊急停止

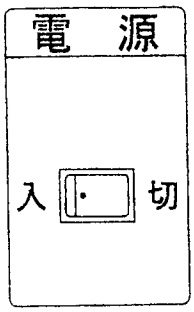
⚠警 告

●運転中に「停止」スイッチを押しても、すぐに機械は停止しませんので注意してください。

運転中に緊急で運転を停止する方法には、次の2つの方法があります。

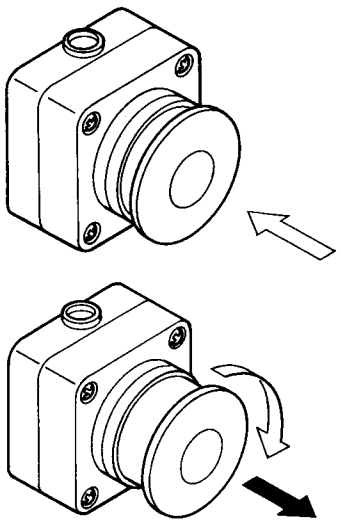
すぐにできる方の操作を行ってください。

〔コントロールボックスの「電源」スイッチを「切」にする〕



●コントロールボックスの「電源」スイッチを「切」にすると、すべての運転が停止します。

〔「非常停止」スイッチを押す〕



非常停止スイッチ

●「非常停止」スイッチを、カチッと音がするまで押し込むと、すべての運転が停止します。

●安全を確認したら、「非常停止」スイッチを右に回転させ元に戻してください。

（元に戻さないと乾燥機は運転できません。）

⚠警 告

●乾燥運転から緊急停止した後、再点火する場合は、5分以上送風運転してから点火してください。高温のバーナに点火すると爆発音がすることがあります。

残留穀物の取出しと掃除

⚠警 告

●作業を行う前に、「電源」スイッチを切り、電源コネクタを抜いてください。

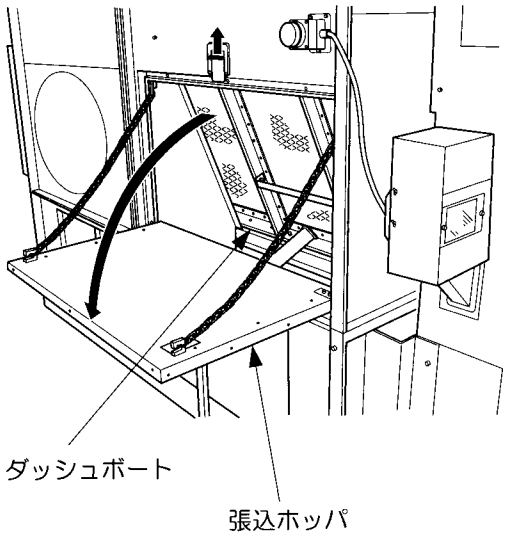
稼働期後は、次の手順で機体に残留している穀物を取出してください。

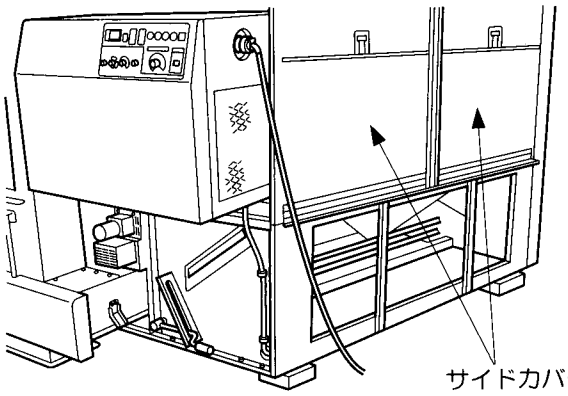
機械の中が空であることを確認して行ってください。

1　ダッシュボードを掃除する。

●張込ホッパを開けてダッシュボード上のワラ屑を取出します。

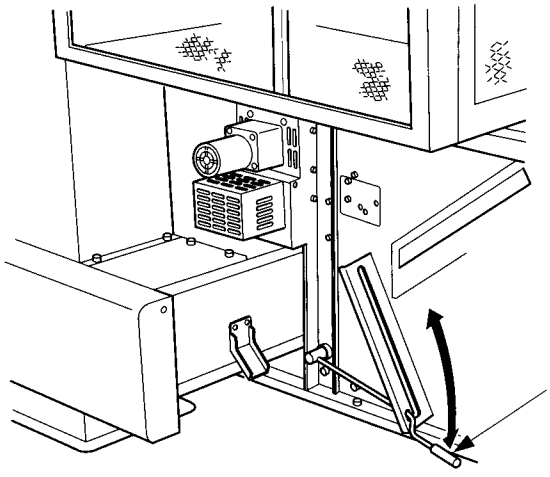
●サイドカバーを開けてダッシュボード上のワラ屑を取出します。



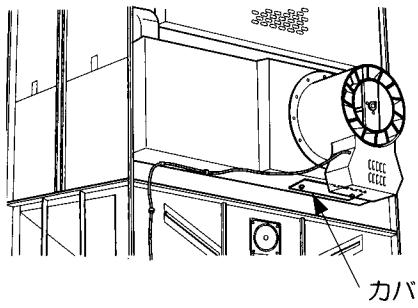


2　下部スクリュを掃除する。

●下部シャッタ開閉レバーを2～3回開閉させ、機械の下に落ちた穀物をホウキで取除きます。

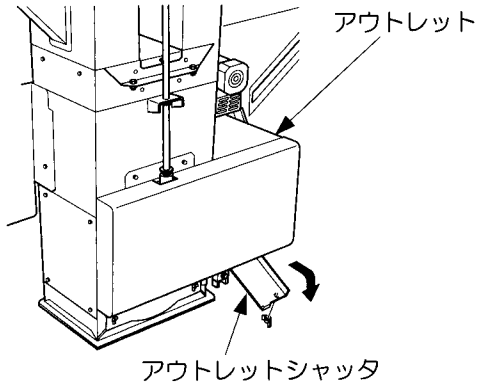


残留穀物の取出しと掃除



3　ファンボックスを掃除する。

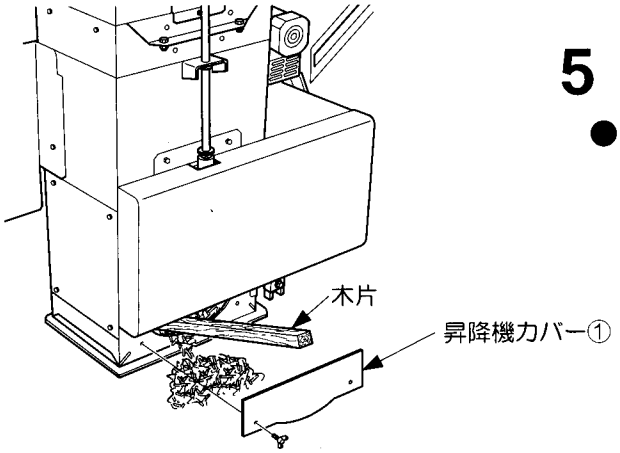
●吸引ファンが取付けてあるファンボックス下のカバーを取外し、残留穀物を取除きます。



4　アウトレットを掃除する。

●機械前面下部にあるアウトレットシャッタの蝶ナットを外します。

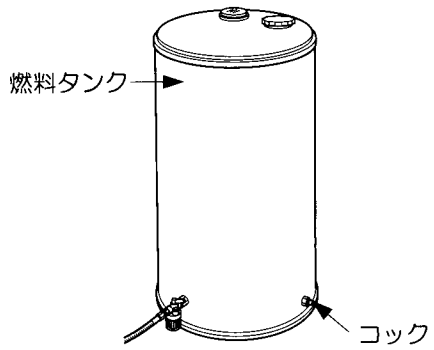
●アウトレット部の残留穀物を取除きます。



5　昇降機下部を掃除する。

●昇降機カバー①を取外し、残留している穀物を木片などで取除きます。

各部の掃除

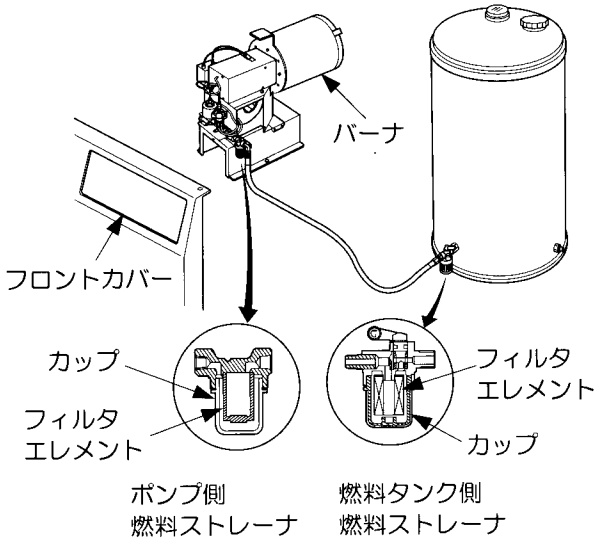


1　燃料タンクを掃除する。

●ドレイン抜きのコックを外し、残りの灯油を抜取ります。

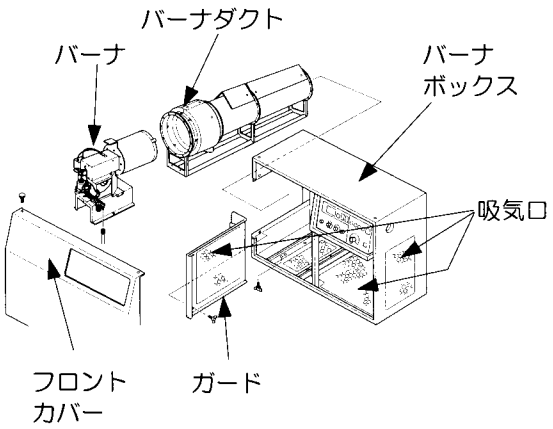
●残った灯油は適切に処分してください。

各部の掃除



注　意

- バーナおよびバーナダクトは重いので注意して作業してください。
- バーナダクトを組み付ける場合は、確実に奥まで押し込んでください。

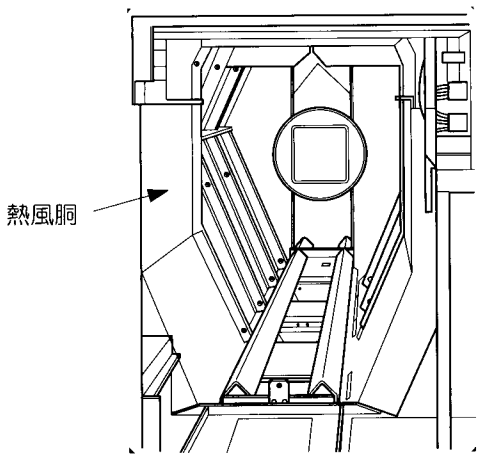


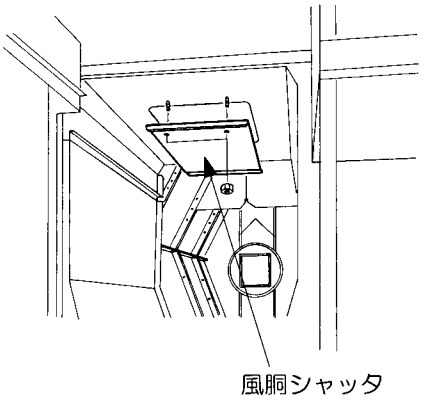
2　燃料ストレーナを掃除する。

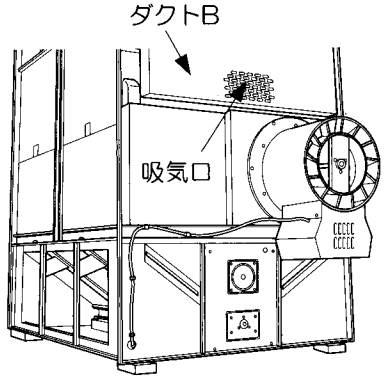
- 燃料コックを閉めます。
- バーナボックス前面のフロントカバーを外します。
- フレキシブルチューブをカプラから外します。
- ポンプ側燃料ストレーナのねじ込み式カップを外し、フィルタエレメントを灯油で洗います。
- 燃料タンク側燃料ストレーナも同様に掃除します。
- 掃除が終わったら、逆の手順で組み付けます。

3　バーナボックス内および熱風胴、ダクトＢを掃除する。

- バーナボックス前面のフロントカバーを外します。
- バーナを外します。
- バーナやバーナボックスの吸気口に付着しているゴミ・埃を取り除きます。
- バーナボックスのガードを取り外します。
- バーナダクトを手前に引き出します。
- バーナダクトおよび熱風胴に付着しているゴミ・埃を取り除きます。
- 風胴シャッタを取り外し、内部に堆積しているゴミ・埃を取り除きます。
- 各部の掃除が終わったら、逆の手順で組み付けます。
- ダクトBの吸気口に付着しているゴミ・埃を取り除きます。



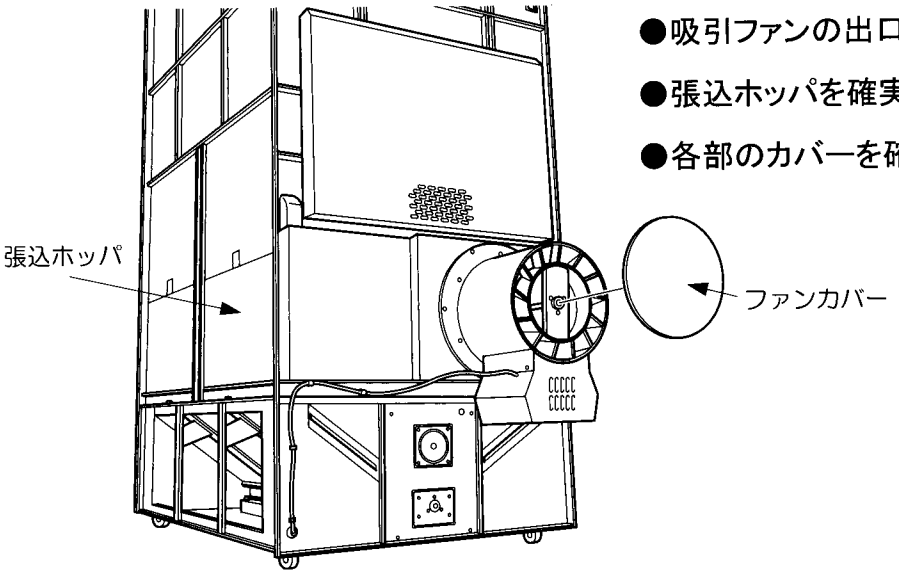




ネズミの侵入防止

ネズミが機械内に侵入すると機内のコード類をかじり、ショート、漏電の原因になります。

稼働期が終了したら下記の方法でネズミの侵入防止を行ってください。



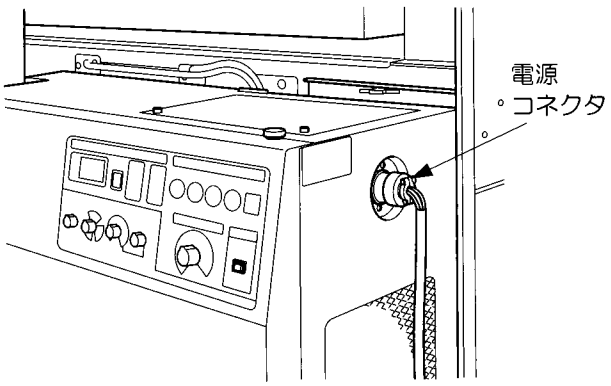
●29ページの方法で、残留穀物を機内から取出します。

●吸引ファンの出口にファンカバーを取付けます。

●張込ホッパを確実に閉めます。

●各部のカバーを確実に閉めます。

その他の点検と作業



●コントロールボックス、水分計、バーナ、各モータに湿気や雨水が入らないように保管します。

●電源コネクタを抜きます。

⚠注 意

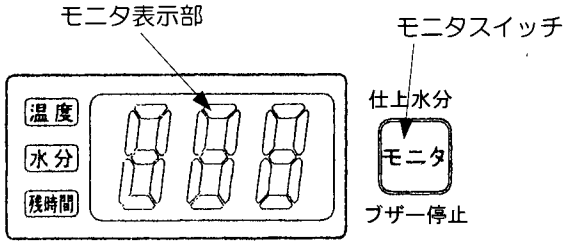
●電源コネクタを差し込んだままにしておくと雷により制御部が損傷することがあります。

ハシゴの保管

●ハシゴは、お子様などが遊ばないよう、乾燥機から取り外して保管してください。

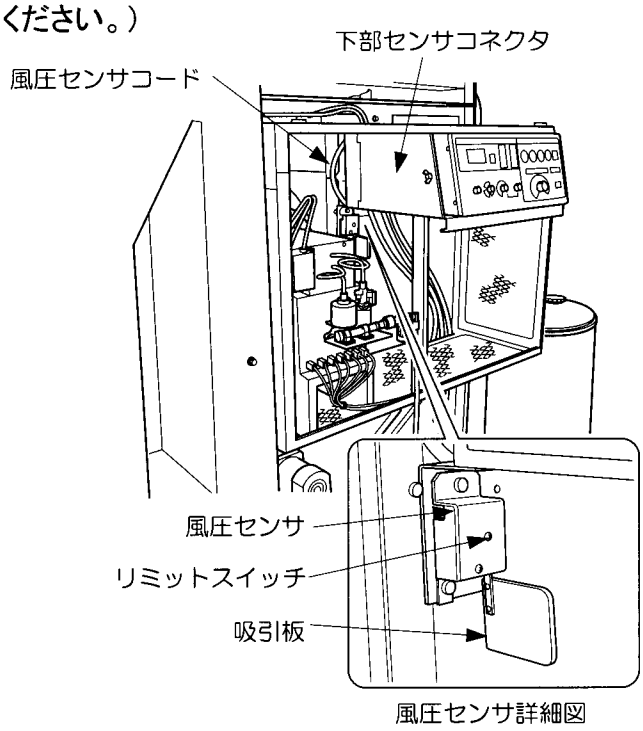
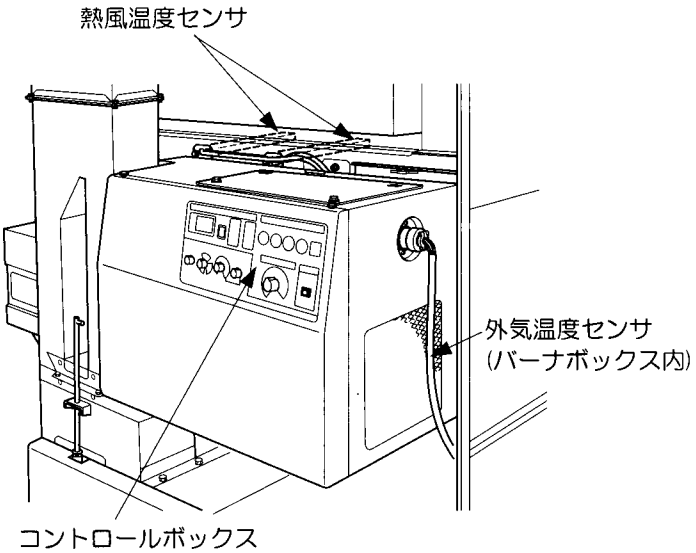
困ったときの対処のしかた

モニタ表示部にアラームNO(E○○)が表示された場合は、「モニタ」スイッチを押してブザーを停止させ、電源コネクタを抜いて下記方法で対処してください。

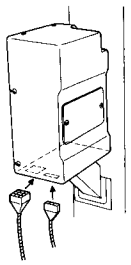
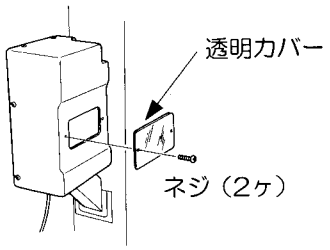
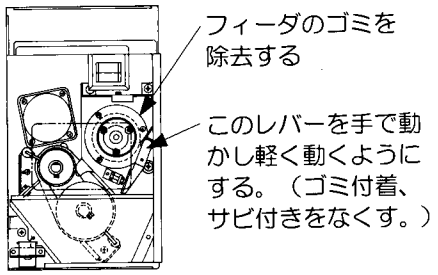
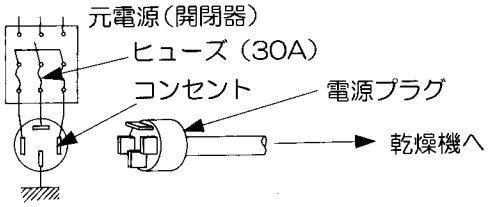
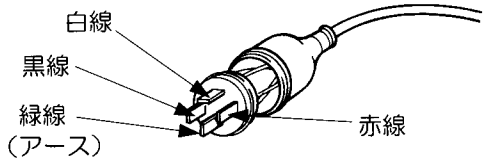


症　状	原　因	対処方法
004または002が点滅する ・ バーナに点火しない	燃料タンクに灯油が入っていますか？	灯油(JIS1号灯油)を入れてください。
	燃料タンクのコックを開いていますか？	21ページの方法で燃料タンクのコックを開いてください。
	フレキシブルチューブを確実に取り付けていますか？	13ページの方法でフレキシブルチューブをカプラに確実に取り付けてください。
	フレキシブルチューブにエアが入っていませんか？	13ページの方法でエア抜きをし、再度乾燥スイッチを押してください。
	バーナにゴミやススが付着していませんか？	31ページの方法でバーナに付着しているゴミやススを掃除してください。
	燃料ストレーナにゴミが付着していませんか？	31ページの方法で燃料ストレーナを掃除してください。
E24が点滅する	送風運転から停止スイッチを押して、すぐ乾燥スイッチを押していませんか？	吸引ファンが完全に停止してから乾燥スイッチを押してください。
E25・E85が点滅する (34ページにつづく)	穀物を張り込んでいますか？	穀物を張り込んでください。
	排風ダクトが曲がったり、つぶれたりしていませんか？	4ページの方法で排風ダクトを真っ直ぐに張ってください。
	張込ホッパを開いたままにしていませんか？	16ページの方法で張込ホッパを完全に閉じてください。
	吸引ファンのベルトが緩んでいませんか？	12ページの方法でベルトを張ってください。

困ったときの対処のしかた

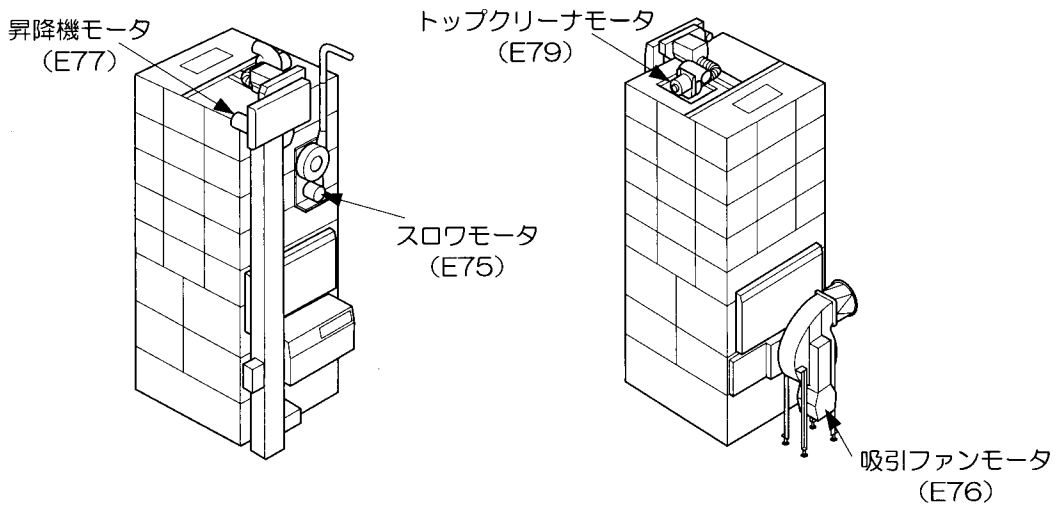
症　状	原　因	対処方法
E25･E85が点滅する	風圧センサのコードが断線していませんか？ また、風圧センサのコネクタがコントロールボックスに確実に差し込んでありますか？	コントロールボックス左側の下部センサのコネクタを確実に差し込んでください。 断線している場合は結線します。（購入先に依頼してください。）  風圧センサ詳細図
E21が点滅する	熱風温度センサのコネクタがコントロールボックスに確実に差し込んでありますか？	E21の場合は熱風温度センサのコネクタを確実に差し込んでください。 また、E28の場合は、外気温度センサのコネクタを確実に差し込んでください。 コネクタはコントロールボックス左側にあります。 
E28が点滅する	外気温度センサのコネクタがコントロールボックスに確実に差し込んでありますか？	

困ったときの対処のしかた

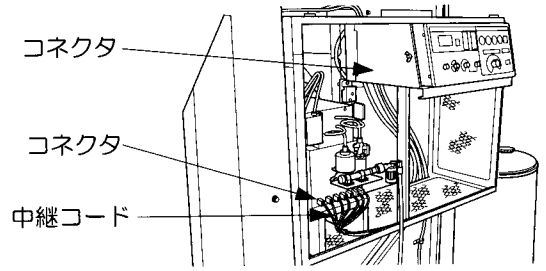
症　状	原　因	対処方法
E51が点滅する または、水分888が点滅する	自動水分計の接続コードは確実に差し込んでありますか？	自動水分計の接続コードを確実に差し込んでください。 
	自動水分計の透明カバーを開けたままで運転していませんか？	透明カバーを取り付けてください。 
	自動水分計のフィーダにゴミが詰まっていませんか？	透明カバーを取外し、レバーが手で軽く動くようにゴミを取除いてください。 
電源が入らない・ E62が点滅する	元電源のヒューズが切れていませんか？	元電源のヒューズを確認してください。 
	非常停止スイッチを入れていませんか？	28ページの方法でスイッチを右に回転させ元に戻してきださい。
	元電源からコントロールボックスまで正しく配線されていますか？	配線コードの色とコンセント金具が下図のようになっているか確認します。（購入先に依頼してください。） 
E66が点滅する	地震がありませんでしたか？	機械に異常がないことを確認して、再度運転を開始してください。

困ったときの対処のしかた

症　状	原　因	対　処　方　法
E65･E73が点滅する	昇降機のバケットベルトが緩んだり、片寄ったりしていませんか？	12ページの方法で、昇降機のバケットベルトを張ってください。
	昇降機下部のベルトが緩んでいませんか？	ベルトの中心を指で強く押さえたとき、13～17mmたわむ程度に張ってください。
	穀物をタンクに張込みすぎていませんか？	天井のカバーを開き、バケツなどでタンクの「張込停止線」になるまで張り込みすぎた穀物を取出します。（購入先へ依頼してください。）
E72が点滅する	吸引ファンのベルトが緩んでいませんか？	12ページの方法でベルトを張ってください。
E75・E76・E77・E79が点滅するモータが回らない	各モータのコネクタが確実に差し込まれていますか？ また、断線していませんか？	各モータのコネクタを確実に差し込んでみます。また、断線している場合は、元電源を切って結線します。（購入先へ依頼してください。）
E81･E83が点滅する	燃料ストレーナにゴミが付着していませんか？	31ページの方法で燃料ストレーナを掃除してください。
E88が点滅する･乾燥が遅い	吸引ファンのベルトが緩んでいませんか？	12ページの方法でベルトを張ってください。
	排風ダクトが曲がったり、つぶれたりしていませんか？	4ページの方法で排風ダクトを真っ直ぐに張ってください。
	ダクトBの吸気口にゴミ・埃が付着している、あるいは遮へい物がありませんか？	ゴミ・埃は取り除いてください。遮へい物により吸気口がふさがれていないか確認してください。



困ったときの対処のしかた

症　状	原　因	対　処　方　法
E96が点滅する	バーナファンとコントロールボックスの中継コードが断線していませんか？ また、コネクタが確実に差込まれていますか？	コネクタを確実に差込んでください。断線している場合は結線します。（購入先へ依頼してください。） 
乾燥途中バーナが消火する	「張込量」ツマミを少量または1にして乾燥していませんか？	「張込量」ツマミが少量または1の場合は、バーナは燃焼・休止を繰返して乾燥しますから故障ではありません。（少量の場合は40分燃焼・30分休止、1の場合は50分燃焼・30分休止を繰り返します。）
	燃料ストレーナにゴミが付着していませんか？	31ページの方法で燃料ストレーナを掃除してください。
水分が合わない	「品種」ツマミを「もみA」または「もみC」に設定していませんか？	「もみB」に設定してください。
	手持ち抵抗式水分計を正しい方法で使用していますか？	23ページを参照し正しい方法で使用してください。
	手持ち抵抗式水分計は正常ですか？	毎年検査を受けたものを使用してください。
	乾燥途中で測定し比較していませんか？	水分が17%以下になってから測定し、比較してください。
	誤差範囲は1.0%以内ですか？	1.0%以内の差は計器や穀物水分のバラツキによる誤差ですから水分計の故障ではありません。このときは23・24ページの方法で水分を合わせてください。
	張り込んだ穀物に水分のバラツキはありませんか？	原料穀物に水分のバラツキがある場合は、4～5時間送風運転し、水分を均等にしてから乾燥してください。また19ページを参照し「2段乾燥」を行ってください。
	乾燥後数日経過していませんか？	玄米の水分値は、乾燥後に未熟粒混入率によって次のように変わるので注意してください。 ●未熟粒混入率が5%以下の場合は、0.5～1.0%乾きます。 ●未熟粒混入率が11%以上の場合は、0.5～1.0%戻ります。 ●未熟粒混入率が5～11%の場合は、乾く場合もあるし、戻る場合もあります。

機械の仕様

仕様一覧表

機種			乾燥機（穀物用循環型）						
型式名			SDR30ME	SDR35ME	SDR40ME	SDR45ME	SDR50LE	SDR60LE	SDR70LE
区分									
処理できる穀物(kg) 注1		籾	700～3,000	700～3,500	700～4,000	700～4,500	700～5,000	700～6,000	700～7,000
		小麦	850～3,640	850～4,250	850～4,860	850～5,460	850～6,070	850～7,290	850～8,500
機体質量（重量）(kg)			1,200	1,240	1,270	1,310	1,340	1,560	1,630
送風機	型式名		FXA50C				FR48	FR60	
	種類		斜軸流式				遠心式	遠心式	
	常用回転数(r/m)		1500±30				1500±30	1300±30	
火炉	型式名		BC120						
	形式名		ガンタイプ（噴霧式）						
	点火方法		自動（イグナイタ）						
	燃焼量(L/時) 注2		2.0～6.0				2.0～7.0	2.0～10.0	
使用燃料			ＪＩＳ1号灯油						
燃料タンク容量(L)			98					オプション	
所要動力	定格電圧 (V)		三相200						
	定格出力	送風機 (kW)	0.95				1.7	2.6	
		昇降機 (kW)	0.7						
		ロータリバルブ(kW)	0.06						
		トップクリーナ(kW)	0.15						
		バーナファン(kW)	0.05						
		水分計 (kW)	0.006						
		切換バルブ (kW)	0.003						
	最大同時使用電力(kW)		1.919				2.669	3.569	
性能	張込時間 注3	籾 (分)	14～16	16～19	18～22	21～25	23～27	28～33	32～38
		小麦(分)	21～27	26～32	29～36	33～41	36～46	44～55	51～64
	排出時間 注3	籾 (分)	15～18	17～21	19～24	22～27	24～30	29～36	34～41
		小麦(分)	15～17	17～20	19～23	22～26	24～29	29～35	34～41
	毎時乾減率 注4	籾 (%/時)	0.8～1.0						
		小麦(%/時)	0.8～1.1						
諸装置	安全装置		①フレームロッド ②風圧センサ ③温度センサ ④過負荷保護装置 ⑤異常燃焼検出回路 ⑥マイコンによるアラーム検知および停止装置 ⑦感震装置						
	運転制御方式		電子制御						
	その他	標準装備品	①自動水分計（GM2A） ②デジタル表示（温度・水分・残時間・アラーム） ③自動切換バルブ ④モータ ⑤ハシゴ ⑥サイドホッパ ⑦トップクリーナ ⑧満量センサ ⑨非常停止スイッチ						
		別売部品	①モータスロワ ②フロントホッパ ③ファンボックス（30～45石） ④90° エルボ ⑤５・10石増枠セット（30～60石） ⑥昇降機逆組付部品						
安全鑑定番号			申請予定						

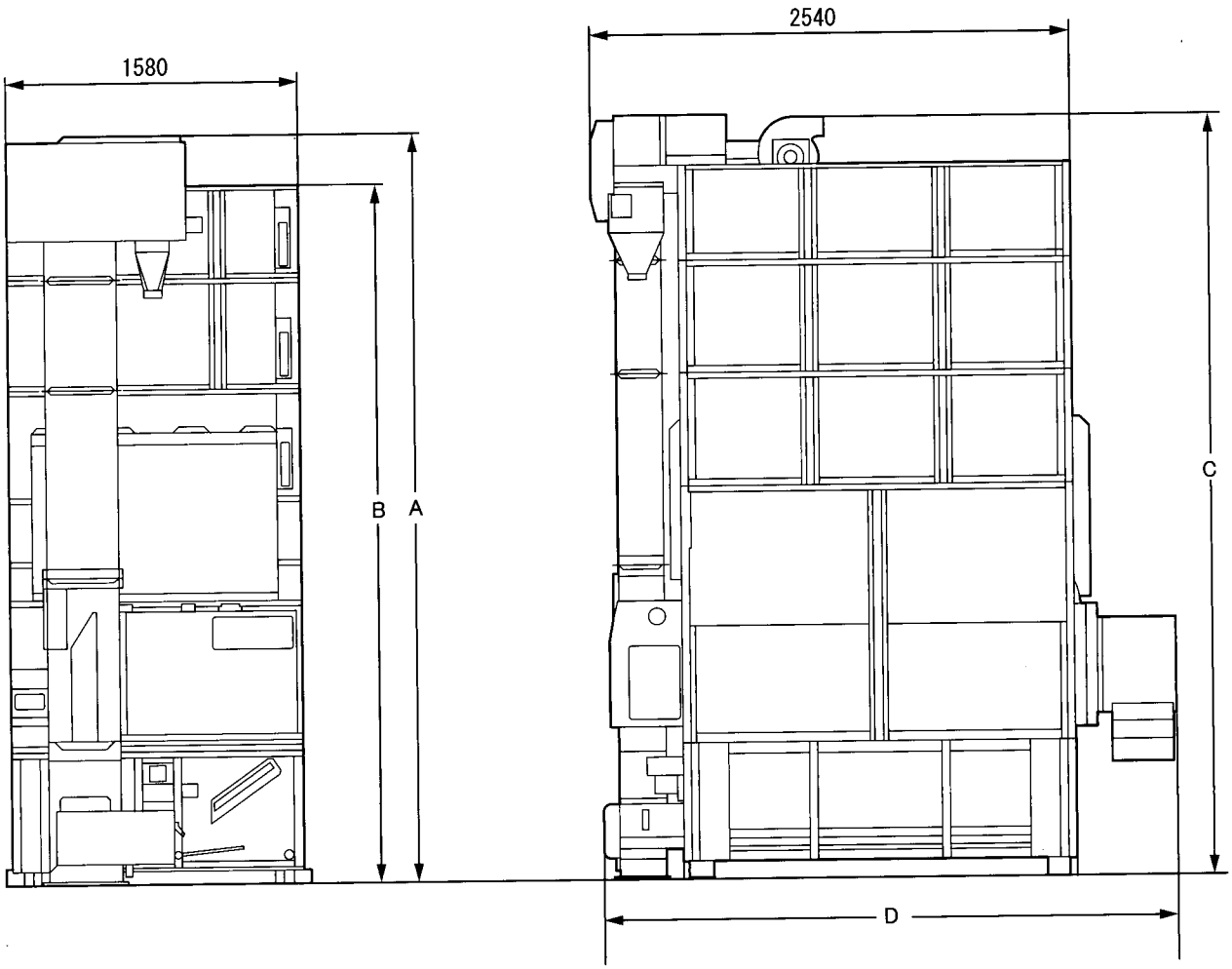
注1. 少量乾燥は、籾で700kg、麦で850kgから可能です。ただし籾1800kg、麦2200kg以下の毎時乾減率は、乾燥速度設定が[速い]の場合、それぞれ0.6～0.8%/時、0.7～1.0%/時となります。

注2. 燃焼量は(燃料消費量)は原料条件(水分・夾雑物・品質等)環境条件(外気温度・外気湿度等)運転条件(設定・設置場所等)により異なります。

注3. 張込、排出時間は原料条件(水分・夾雑物・品質等)によって仕様と異なります。

注4. 表中の籾の毎時乾減率は、最大張込時、乾燥速度設定が[速い]の場合、初期水分24%から仕上げ水分14.5%までの平均値です。表中の麦の毎時乾減率は、最大張込時、乾燥速度設定が[速い]の場合、初期水分30%から仕上げ水分12.5%までの平均値です。乾燥速度設定が[ふつう]の場合の毎時乾減率は、籾で0.6～0.8%/時、麦で0.7～1.0%/時です。なお、これらの値は原料条件(水分・夾雑物・品種等)、環境条件(外気温度・外気湿度等)、運転条件(設定・設置場所等)によって仕様と異なります。

機体寸法



図はSDR30MEです。

単位：mm

型　式	SDR30ME	SDR35ME	SDR40ME	SDR45ME	SDR50LE	SDR60LE	SDR70LE
A	4,060	4,660	4,660	4,960	5,260	5,860	6,460
B	3,780	4,080	4,380	4,680	4,980	5,580	6,180
C	4,050	4,350	4,650	4,950	5,250	5,850	6,450
D	3,050				3,310	3,350	

保証とアフターサービス

取扱い・修理などのご相談は**お買上げのＪＡまたは販売店**へお申し付けください。

■保証書（別添付）

●保証書は必ず、「お買上げ日、JA・販売店名」などの記入をお確かめの上、JAまたは販売店からお受取りください。

●内容をよく確かめたあと、大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げ日から１年間です。

■補修用部品の供給年限

●この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後12年とします。ただし、供給年限内にあっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合があります。

●補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給の要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

■修理を依頼されるときには

●「困っときの対処のしかた」（33～37ページ）にしたがっても直らない場合は、お買上げのJAまたは販売店にご連絡ください。

〔保証期間中は〕

●修理に際しては、保証書をご提示ください。

●保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

〔保証期間が過ぎているときは〕

●修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。

〔修理料金は〕

●修理料金＋部品代で構成されています。

[メモ]

緊急時の連絡先

機械が異常な作動をし、原因が不明で適切な処置が行えない場合、または運転操作方法等に不明な点がある場合は、下記連絡先へご連絡ください。

[1]JA・販売店（購入時にお客様にてご記入下さい）

店　　名:	
緊急時の連絡先:	
担　当　者:	

[2]最寄の営業所

●JA・販売店に連絡がつかない場合は、下記最寄の営業所へご連絡ください。

営業所／所在地	TEL(代表)	FAX	〒
北海道営業所／札幌市白石区菊水上町３条２丁目 52-254	011 (812) 3666	011 (820) 2007	003-0813
北上営業所／岩手県北上市川岸１丁目 16-1(東北佐竹製作所内)	0197 (64) 0111	0197 (61) 0001	024-0032
秋田営業所／秋田市仁井田字中谷地 121-2	018 (839) 0891	018 (889) 6001	010-1423
仙台営業所／宮城県仙台市若林区六丁の目南町 2-20	022 (287) 2733	022 (390) 1017	984-0013
小山営業所／栃木県小山市駅南町４丁目 31	0285 (27) 5060	0285 (31) 1002	323-0822
柏営業所／千葉県柏市大室 1153	04 (7132) 1181	04 (7140) 8018	277-0813
新潟営業所／新潟市長潟３丁目 8-16	025 (287) 0177	025 (257) 1103	950-0932
名古屋営業所／愛知県一宮市赤見３丁目 10-6	0586 (73) 2177	0586 (26) 1040	491-0023
北陸営業所／石川県松任市源兵島町 793-1	076 (277) 2085	076 (277) 8010	924-0052
大阪営業所／大阪府豊中市庄内西町５丁目 1-76	06 (6331) 0558	06 (6335) 2066	561-0832
広島営業所／広島県東広島市西条西本町 2-30	082 (420) 8575	082 (420) 0010	739-8602
松山営業所／愛媛県松山市本町４丁目 5-1　山本屋本町ビル	089 (925) 8877	089 (946) 5100	790-0811
福岡営業所／福岡県太宰府市国分１丁目 7-1	092 (921) 6111	092 (920) 1030	818-0132
熊本営業所／熊本市西原３丁目 3-29	096 (382) 2727	096 (386) 2007	862-0929

[3] 製造元　株式会社 サタケ

広島本社／広島県東広島市西条西本町 2-30　〒739-8602

●最寄りの支店・営業所に連絡がつかない場合は、下記連絡先へご連絡ください。

■お客様相談窓口	[サービス事業部]	TEL:082 (420) 8543	FAX:082 (420) 0009
■本社営業窓口	[調製機事業部]	TEL:082 (420) 8541	FAX:082 (420) 0005
■大　代　表		TEL:082 (420) 0001	

株式会社 サタケ

□広島本社／〒739-8602 広島県東広島市西条西本町 2-30　TEL 082(420)0001(代表)
□東京本社／〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-7-2　TEL 03(3253)3111(代表)
□営業拠点／北海道、北上、秋田、仙台、小山、柏、東京、新潟、名古屋、北陸、大阪、広島、松山、九州、福岡、熊本
□サタケグループ／
株式会社サタケ(UK DIVISION, NEW DELHI OFFICE, BEIJING OFFICE, BANGKOK OFFICE, YANGON OFFICE)、株式会社東北佐竹製作所、佐竹鉄工株式会社、佐竹電機株式会社、岐阜佐竹株式会社、エス・エス・エンタープライズ株式会社、サタケシステムエンジニアリング株式会社、サタケ・ビジネス・サポート株式会社、(財)サタケ技術振興財団、SATAKE(CANADA) INC.、SATAKE USA INC.、SATAKE AMERICA LATINA LTDA.、SATAKE AUSTRALIA PTY. LTD.、ESM(UK)LTD.、SATAKE(THAILAND)CO., LTD.、佐竹機械(蘇州)有限公司、佐竹軟件技術(上海)有限公司

サタケのホームページ
http://www.satake-japan.co.jp/

ISO9001認証　ISO14001認証

I1SDR30MEA-B0401

この印刷物は環境にやさしい再生紙を使用しています。
この印刷物は環境にやさしい植物性大豆油インキを使用しています。